支那の排日には答

へず

は諒解できぬ

こする

配者圏との會見に一般維

畑建勞農政府成立

王席には毛澤東が就任

同安も危険

**した光らせてるた然の脚準疑**な残で、四人は深密道を習出町のこまがの態りを受骸の中に変しての陰茎のドアーに緊張した戦 に人揺避しながら食後の骸歩さい と神楽でなど五駄を覧上げ又悠々は目の無駄さなり今に値を見 ダンディらしく的いスカーフを引 れき事態開保の興奮を滅り本社教法目の無駄さなり今に値を見 ダンディらしく的いスカーフを引 れき事態開保の興奮を滅り本社教法目の無駄さなり合いに乗りこんだ各社記者 車も呼ばす黒の合オーパーの中に た記者の僕見を知らの鍵にあれこ

調査團と

皇軍輸送問題解決す

日露關係も好轉か

態度を

日

夕闇にまぎれて

附属地を散步

書店で事變關係書を購入

いより

~本日より

正式調査を開始

問題の人

がこも場所が附職地外であることにては家天におけるプログラムと大管を和に替成であるが双番型して居り かっているが、 調査團の日程未定

身動きがつかぬ調 長春の日取りも未定 東身に集まった社意も知らの顔に何 本人表面だけは平純であった『奉 大電話』 查團

# 歐洲安全保障に

(刊日)

(景芸場大学公司第)

問

題

日本の根本方針變らす

は

まアメリカの総力を要請したがス 見られてゐる まアメリカの総力を要請したがス 見られてゐる

チムソン氏は蜿蜒に之れを控轄し 第一回論功行賞

日の停眠送さら満洲を先さら今週 るさ
日の停眠送さら満洲を先さら今週 るさ 本月下旬に發表せん

### 最悪の は引揚げる

寮の如く我代表からて十九両季戯 の標果は反日整懐に鳴られてゐる『東京二十二日教』芳瀬州郡は別 | 會出艦を推繹させるに決らたがこ

**温をなす顧維釣問題** 

新政府要人との 大事をごる聯盟調查團 正式會見を考慮中

定時會見において荷間座につき際 ト氏は二十二日午後六時三十分の ト氏は二十二日午後六時三十分の 新政府要人で置きてることとなっている。

発育見したいさ思つてゐる、委員達は滿洲國新政府要人さ

マ木織兵場で役はれる天長翻艇 兵式に天皇陛下には第二公式 神で行幸遊げさる皆傾出された

が変は極めて注目すべく窓には歌いないという。 いっという はんまったので今後の我就を配けれるにあって注目すべく窓には歌いないという。

・ 職監小園師さの正面を対して日本は十九 を持にして於野歌化する決論を行ふされ時に日本は立場を対して五月の塵時でかけ、この情勢を見て五月の塵時では日本は立場を行ふされた。 行幸仰出さる 天長節觀兵式

四千萬圓の

満鐵融資決す

キステンション きのではなる。 もみて已むな得 金問題は二十二日シンチケート酸一することに決定した

臨時總會の形勢日本に不利 正面衝突は免れぬ

智民の生命

変であった右は乗より日本軍の版

ユネーダで日本側は十九ケ回委員

打衝を いてぬる日

ス長官、協力を拒絕 絶對に出席させ 九箇國委員會に

停戦交渉停頓の經過につき 日本公使館の發表 貫

日本軍最終撤収時期を日本のある 十九個委員會そのものた認めでは続くまで日本代本 的決定に委ねるを不可なり ・本軍最終撤収時期を日本の ・大事最終撤収時期を日本の ・大部系機よりその ・大部系機といる。

て日本代表は公開金譜に参加して日本代表は公開金譜に参加して日本代表は公開金譜に参加しての主張を詳述して空氣の緩和な調つた方が得策さ思ふな調合にで変減の緩和な調合に大変が提出に一十二日外級首勝部に対して、この報告を受けたが響外根は二十二日外級首勝部に参加した。

大國側の勸告を刎ねつく

# 

神王 | 日 | 旭昭帝 | 太子製 貴漁 編 ル人 | 本芸紙 栗業 織 | 編 新大日 | 富福內出長日大東 與版本 毛 工品 / 聖崎出日洋 毛毛毛 / 斯勒 / 契勒勒勒勒 級樹機 織 勒護綿織機織護寶 まさして馬等下等の 影響を受けるもの ●イレフレーションは起るかションは起るかり がって での事業からの事業から ▲佛國賽金と世界景氣 《佛國賽金と世界景氣 後は必至 バブソン 景氣觀測篇 政策ご米國景氣

主として漢映時 南浦州鐵道 ▲東洋 系元 大連 五品 ▲大連 強 参 大連 五品 ▲大連 強 参

◎上海事變ご諸事業 受けない事

◎金再禁止の好影響を

◇時局ご商品市場 ◇物價は尚騰け足ら ◇大入組と貿易の今後 

▲日支問題と國際與論 本滿蒙の經濟的寄與 ▲破壞\*t6 國際經濟 ▲再禁止と我財界 本再禁止と我財界 ◇にの金融事態を

市

大阪市北原宗是町 ダイヤモンド支局 電話土佐桐六七九九 振祥大阪 五九八〇 ◎關稅戰強化と我對策 時局と諸事業 號

八田氏も仕事が出來まい

來連した 川崎克代議士談

政局は議會後に變局

江縣縣鄉田二十一日夜來連十一出政務次官民政縣代謝士心輸

望む

聯盟調査團に

天意、民意の明察

華天市县圖

正しき認識期待

電性頭方煜恩が近れる第一

國聯調查園

いて質氏に獣・鬼を施すこり西四原財政が開発という。

貧民に施粥

する舊部下と武市領事

救恤金分配の紛擾

(=)

先づ王道を 理會せよ

說

(版內市)

想の實現東洋復歸思

政府の慰留は來な

以て 國際聯盟調査委員宛通電を發せられ 以て 國際聯盟調査委員宛通電を發せられ しんさする話になりつゝあるが一が標準剛時代源學以より派 れんさする話になりつゝあるが一が標準剛時代源學以より派 では、一次の一方ででででであるため、 では、一方のででであるが一方でででででである。 では、一方のでは、一方のでは、一方のででである。 では、ここでは、一方のでは、一方のででででである。 では、ここでは、一方のでは、一方のででである。 では、ここでは、では、一方のでは、ここでは、では、ここでは、では、一方のでは、一方では、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一

離表提出

留任せしか

る方針

(大変を表された) (大変を要素された) (大変を要素された) (大変を要素された) (大変を表された) (

素拓相語る

本草で大美で歌画を交べてある食時雨京政府及びその方面から草喰慰問されて 馬占山氏自身の自由も許されてゐるか否かは疑はし字を解せぬ事實あるため氏が通電文を作成する道理 取り

「東京二十一日登」

製版を振き満般の歌歌で批そ

八田氏動伝後の清健の歌歌が批そ

の他政府の對満が批を流ら時餘に

の他政府の對満が批を流ら時餘に

に脚氏の名による通常は全部ソウエート観想河にある學良振識の領事の手によってなされてゐることは事識である『長春電話』『寫真ので通道して行く、馬氏の名による通電がどうであらうさそれは満洲側の敢て関知せぬことであるとれて清洲側の理想方針とによその通常通りであるか否かは調査員の來稿調査によって立派に列明するであらう、けれざ満洲側は娘くまでも満洲側の理想方針とによらの選進して行く、馬氏の名による通電がどうであらうさそれは満洲側の敢て関知せぬことである。 決と家族の身を案じて黒河に赴いたのである。から故に現在の馬氏は虎穴に入 な目に遭つて てゐることを聞き知つたゝめ馬氏は分配金のこれがあるだかりでなく色々波紋を摘いて賴る揉めて私」であるだかりでなく色々波紋を摘いて賴る揉めてゐ

認識を是正

大將拜謁使三

山岡長官歸旅語る

「皇京二十一日登」天皇陛下に は二十一日午前十時今年度閣軍 第一特倫閣郡使憲派大勝に黙し宮中に 然代郭鵬即せつけられ次で常軍 然で郭鵬即せつけられ次で常軍 がて郭鵬即を安保大勝に黙し宮中に がて郭鵬ののけられたで常軍

二十二日午後三時間粉除にかける 「海州岡町の駅前に使れて海州岡町 関人を云へども登用するものであ 海州岡町の駅前に使れて海州岡町 関人を云へども登用するものであ 一等中日本人の低用は海州岡町 関人を云へども登用するものであ 一等でも改って日本人登用に関し 一部政の標準に置かて低用したるもの 一意歌点演洲岡町岡の新砂町滑きに 一様の駅前に関わて低用したるもの 一巻歌点演洲岡町岡の新砂町滑きに 一様の駅前に関わて低用したるもの 一巻歌点演洲岡町岡の新砂町滑きに 一様の駅前に関わて近月したるもの 一様の駅前に関わて近月したるもの 一様の駅前に関わる。 一様の駅前に関わる。 一様の駅前に関わる。 一様のの駅前に関わる。 一様のの駅前に関わる。 一様のの駅前に関わる。 一様のの駅前に関わる。 一様のの駅前に関わる。 一様のの駅前に関わる。 一様のの駅前に関わる。 一様のの駅前に関わる。 一様のの下が、 一様のである。 一様のの下が、 一様のである。 一様のである。 一様ののである。 一様ののである。 一様ののである。 一様のである。 一様ののである。 一様のである。 一をのである。 一をのである。 一をのである。 一をのである。 一をのである。 一をのである。 一をのでなる。 一をのである。 一をのである。 一をのである。 一をのである。 一をのである。 一をのである。 一をのである。 一をのである。 一をのである。

在滿邦人と提携し

-大阪工業親 ※面

大連人権保証のうらる丸の主なる

うらる丸の船客

原田猪八郎氏談

豆粕昻騰

八を登用

建國精神に則つて

本学大学 本学大学 本元、00 際一四五、00一四四、000 原一四五、00一四四、000 ・ 一の一四四、000

從四位動四等 西內特四縣

讀物

まゆ

少年

いき

いが扮職なつてたふれてぬます。

ですわ。今殿かられるさころもあってすわ。今殿かられるさころもあった

かさいがは、あまりのこさに、ぼ

うさざが泣き転でいふさ、かさ

そして、みんないできめ合ひ、

機な性格が知らの間に作り上げらばが時可愛がり過ぎたためにこの

H

载

合することではなく、一人の鬼性とがしながら総に、一人の鬼性と一人の女性とが

では、どうしたら、結婚の投機では、には、どうしたら、結婚の投機

物

一年になった兒童をお持ちの

**父兄は充分**ご注意を



持たす、自分の生活を確立せず、おそれるのは、自己さいふものな

若いが性たちが、結婚の不安に

自由なが性の上に随く見て來てる 職業をもち準想を被いてゐる徹立 です。 根拠は、このやうな像を

彼女の理想さいふものは、失はれ

果して結婚は投機か 評 伊福部敬子

根壁の相手を探すのですから、自にはつて覚まらめるのです。「自にはつて覚まらめるのです。「自 さ、始めから、自己さいふものを分かざんな人の中に解消しようか

とかし、このやうな経験が安一、監索を失ふここなく、しかし総合 を指したいのはいふまでもありません をはれたりとないのはいふまでもありません。 をはれたりとないやうな根壁が配されたり をはれたりを整臓します。 によいのです。 をはれたりを変します。といれたいのはいふまでもありません。 をはれたりとないやうな根壁が配されたり をはれたりとないやうな根壁が配されたり。 をはれたりとないやうな根壁が配されたり をはれたりを変します。といれているのです。 をはれたりとないやうな根壁が配って、その自分を図力 をはれたりを変します。といれたいのです。 をはれたりを変します。といれたいのです。 をはれたりを変した。 をはれたりとないやうな根壁が配されたり です。そしてそれには自分の整満 です。そしてそれには自分の整満 です。そしてそれには自分の整満 です。そしてそれには自分の整満 です。そしてそれには自分の整満 です。そしてそれには自分の整満 です。そしても、一般なの生活が全す。 です。そしてそれには自分の整満 です。をしてそれには自分の整満 です。をしてそれには自分の整満 を自分の思ふ通りに出来るを整体のみ です。をしても、一部であり、概本 です。をしてそれには自分の整満 です。をしてそれには自分の整満 です。をしてそれには自分の整満 を自分の思ふ道りに出来るを整体のみ です。をしても、一部です。 を自分の思ふ道りに出来るを整体のみ です。をしても、一部です。 を自分の思ふ道りに出来るを整体のみ です。をしても、一部です。 を自分の思ふ道りに出来るを整体のみ です。をしても、一部です。 を自分のと、一部にです。 を自分のと、正しいを を自分のと、正しいを を自分のと、正しいを をはる、変性ののを 自己といるとを が、正しい感覚にむき、正しいを をはるのです。 をはるのでする。 をはるのです。 をはるのでする。 をはるるのでする。 をはるのでする。 をなるでする。 をはるなでなる。 をなるでする。 をなるでする。 をなるでなる。 をなるでする。 をなる。 をなななる。 をなるななななななななななななななななななななななななななな

物に飽き易い子達の…………… 解に早く直すこと…… 

もつさ親たちが深い関心をもつてた大郷な役目を持つてゐる玩真な --よき目的に 適った 一寸變つた

の要依です。いくら数常純に健催のあるものでも、子供の登官の歴 をにふさはらくなければ充分の効 をにふさはもくなければ充分の効 をにふさはもくなければ充分の効 へればなりません、ここでいふよ 高い覚派な玩真の事ではありませ 高い覚派な玩真の事ではありませ 出來るだけよい玩具なえらんで見

・ 糖さいふのも ・ 糖さいふのも 事、 反野に子佐に下記な無様や、 うです。子供の心なよりよく、ようです。子供の心なよりよく、よっちゃうな元真なえらぶ

院醫

八七五八話電·話播盤常連大

場馬

仕事ないひつけるにもましても「 等はそれらな総徴するもので自然 はつたり遣ひまはつたりするやう とます、 郷な蠍が際はにやれ は色々の事に様態も抱てきるやう しますさ、壁れて彫らないたどれて すせい ないからは ないたらばい ないからほめてやり る 監事の様なものでよいのですが は一一十世、 な撃撃ささせる事に 一国 田村、 がかからほめてやり る監事の様なものでよいのですが は一世ない ないからほめてやり る いますさ、壁れて彫らないたどれて しますさ、壁れて彫らないたどれて します。 とつこくわしく 具修能に 甲がたり かんには、 天鮮から配下げて見せて して仕事をやつた場合

って、この様を楽しい住居にしやだ、そして前よりも立派な家を作 す。 を季州に出ることのない での要をもの、多型は工夫を要するものが燃光能です。この頭から るものが燃光能です。この頭から るものが燃光能です。この頭から 一人遊びより膨胀能な影響を指む

泉や手足のこなしが自由になりますから子供用のブランコ、近り畫 です、つみ杯や柳本、締なかくこ でなざも結構です。女の子はこの からボリポッポッからしい遊びを続 むやうになりまずからおまとごさ の道具やお人形など興へます人形 も手のこんだ高質なものより支持 なセルロイドや高質なものより支持 です。無ければおざぶさんやまく

大切なものは謎びです。遊びの面としてゐるうちにしらずしらず手起 米國製 ガラス・金物・漆器類 ボンアミー 迂濶に與へるな 心と驅の發育に適した物を **唐** 斯んな物は如何? をになればセルロイド 整の かれおも ちゃだの世上り小法師だのゴム人形だのが必要になります。この時形だのが必要になります。この時でも口にもつて行きますし でにひつかけたりしますから危酸 りしたもの、理想からいへば看性 これは易い物や、小さいものはの これは易い物や、小さいものはの

からない人に自分の者をあづけますことであるからです。自分の一世標では、後女の結婚に繋する不安にす。他でもなられるでせう。他つて自動館であることもです。他つて自動館であることが出来るでせう。

日記の愛生をすりめますから、なるべきがはるやうになりましたり報で引いてがけるやうになりましたられて引いてがけるやうな軍のついたがよっておけるやうな軍のついたがよってがして歩く大きいゴム郷なども教徒のだすけになります、大きの玩具は小さい子にはから、なるべきがの玩具は小さい子にはから、なるべきがでいる。 豆腐料理

流の美容の先生方さ

安ウ髪髪腕襟鼻口眉上白着 撃工の毛の足の紅の手粉物 名女優總出で實演發表

南向 無花瀬一五一番八、ま、大変館 無花瀬一五一番八、ま、

機描学学コ霧板絞染 中き版版ン吹き絞の ウ版ロ染パネの各で ケロウケェル・デ でないれてす。 会を続ってと問題で素質

株面日本タイプライター 大塊大山画 小林又七 大塊大山画 小林又七

琴古

點

毛帶洗洋毛シク西和洗 布地張服織ミリ洋服濯 そ其り類物振 | 洗物に そ其りの他の 一必 ਰੈ ンゲ 切要のな 手切切 のの切グ な洗洗ななな洗識 ひひ仕ひ濯仕仕仕濯

女中

古着

倒古

八山施二丁目

見智木村党人

本村時計店電気がある青年技師二名が開拓せん。

**发衣 器** 川阪町 二

刀劍

商券

**技衣** 蒙

外交 ます、詳細は画談の上 生 名 在

方方法方方方法切图 のかる 店話

るスス 000000 所とちせ、今時機よい居 五結拾

満 二拾鉄塘 古本

**産紙** 戦争で、 年茂祥行紙店 関中に家庭向徳州の世界 算盤の御用は は近甲に限る 紙は出甲に限る

連広 下線業附近目接 下線業中カフェ

競評る本が紹 の細大でへの 誌は懸富ガ丸

青年前の

てませていたとうました。ひさま

無は深つてゐました。

ちまつすぐに様かさしてさんで行いた生を、はたくははたきなが

その時識が近づいてくるけはいがしました。ふりかへつて見るさ

権からたとき落されて行方知れず

お家が無になるので早速かる支

た」さ思ひながち又称に力なこめかさいぎは心の中で「まあよかつ」

「ほんさに近くにも近けないとは

相「仕ががないさ、それより使はお

がら様の奥へ変をかくしました。

でくれがやするぶん気をつけてお

そこへりすらかへつて来ました。 小蔵し無事でかへりました。 みんなそれべくの能なるがさうさしま

「みて下さい、私の家はこのへん

は で くなりました。ころがつてるた人で で の が れたかからとうすみごりの か 出しました。 ふみにじられた地で な出しました。 ふみにじられた地で

五十錢

東京神田

社 装飾機能

出来る

門中將(右)と上野参謀長

多門〇團澄陽に凱旋す

然ては二十七日に網機・腕子と支部に

しずにつかす公安職の出動を待つ あばんさしつとかりこの情報に

豫防デー舉行

鮮満勞働者の

大合同

安東に新満埠頭組合

縣公署占領され

我警官行方不明

日

「整理」昨年十月十五日通密附近」が父もい間行方不明の勇士さして を強げたる鍵織・守備隊等の隊放陸 を強げたる鍵織・守備隊等の隊放陸 大な式であった を強けたる鍵織・守備隊等の隊放陸 大な式であった 大な式であった

市民から配在を航られてもた人変

統計に

鐵嶺小學校にて執行

舄眞を飾つて

鷄冠山―秋木莊間の

= +

連絡も遮断せられて遺骸複音の とのである解薬同地方は交通も 

[事天] 縣冠山、秋木莊間九十一 線路破壊を企つ 約百名の匪賊現はれ

賊團を襲ひ

約二千名の

亂擊衛團

な匪團 伊通縣に有力 2 「安東」十九日夜安紫池航老古満 一方が順に集結せる呼岐順かりさの懐 一方が順に生命できる。 一方が順に生命できる。 一方が順に生命できる。 一方が順に生命できる。 一方が順に生命できる。 一方が順にまる。 できる。 一方が順にまる。 できる。 で 開原署の兩刑事協力し

匪首占山を逮捕 東の野家堡子に十九日地跡し来れる約二千名の匪賊が附近一幣の都に割近駅と第三十五路軍子最談長のまで、「一大路」の武器等の振興を送り食糧その他の武器等の振興を送り食糧その他の武器等の振興を送り食糧その他の武器等の振興を送り食糧その他の武器等の振興を送ります。

に賞詞 開原守備隊

> 14のな元祖さら近年 等に概々現ばれて

| 「「「大学」 | 「大学」 | 「大 居り氏の回さればいります。 一大五川元郎はればさしてゐる、保 を五月上旬から現はれる米園様は に現ばれるのを軽けに一貫目二 一大五川万空三十四の根場を呼んでで 一大五川万空三十四の根場を呼んでで 大大・ 地域線に降速の総により廿一日午 ・ 連手 に下車と兵艦に入った ・ 連手 で新義州に下車と兵艦に入った ・ 連続に下車と兵艦に入った ・ 連続に下車と兵艦に入った ・ 連続に下車と兵艦に入った ・ 連続に下車と兵艦に入った ・ 連続に下車と兵艦に入った ・ 連続に下車と兵艦に入った ・ が 一 日 年 前 十 日 年 前 十 日 年 前 七 時 で 新 義州 と が で が で 人 に と の を で 下 を と で 下 を と で で 新 義州 に 下 車 と た が 出 2 へ の る で で 下 章 と た が 出 2 へ の る で こ て る た 目 下 犯 人 圏 接 中 で あ る ・ は に で で 下 章 と た が 出 2 へ の る で こ て る た 目 下 犯 人 圏 接 中 本 き で で か で 一 郷 ら 酸 に と り で と で で い ま で で い に 下 車 と た が 出 2 へ の る た で で い ま で で い に 下 車 と た が 出 2 へ の な で で い ま で で い に 下 車 と た が 出 2 へ の な で で い ま で で い に 下 車 と た が 出 2 へ の な で に す で で い ま で で い ま で で い ま で で い ま で で い ま で で い ま で で い ま で で い ま で

本社の満洲展に

内地人を驚かさう

安東材木組合

招魂祭の打合

東京大阪の白木屋に於て | 一次の意味を応じたりらてゐるが | 本社主催の海湾國大阪 | 左に飛騨されば | 本社主催の海湾國大阪 | 左に飛騨されば | 本社主催の海湾國大阪 | 左に飛騨されば | 本社主催の海湾國大阪 | 左に飛騨されば | 本社主催の海湾国大阪 | 左に飛騨条両司東洋行、藤原公 | 海馬乗 | 東京大阪の白木屋 | 大阪 | 左へ横頭条両司東洋行、藤原公 | 古人海流大松敦酒造會社、建國の名配である主共に | 普通原技庫、全資金計画店、 | 古人海流大松敦酒造會社、建國の名配である主共に | 普通原技庫、全資金計画社 | 古人海流大松敦酒造會社、建國の名配である主共に | 普通原技庫、全資金計画社 | 古人海流大松敦酒造會社、建國の名配である主共に | 普通原技庫、全資金計画社 | 古人海流大松敦酒造會社、建国 | 古人海流大松敦酒造會社、建国 | 古人海流大松敦酒造會社、建国 | 古人海流大松敦西北 | 古人海流大松敦西北 | 古人海流大松敦西北 | 古人海流大松敦西北 | 古人海流大松敦西北 | 古人海流大松敦 | 古人海流大松 | 古人海流大水 | 古ん海 告訴取消 ・ 本人の語言に依頼して第二十一月 ・ 本人の語言に依頼して第二十一月 ・ 本人の語言に依頼して第二十一月 信義公司事件

| 安東|| 安東|| 安東|| 安東|| 安東|| 安東|| 安東|| 後三時から腕膝に続て夜歌音を際 | 後三時から腕膝に続て夜歌音を際 | 後三時から腕膝に続て夜歌音を際 | での縁窓及び出解者選佐等の他につ | での縁窓及び出解者選佐等の他につ

\*は上版は「無経路が開から下流量」 七月中旬竣成 太子河堤防 

のの西田経費は所在不明さなつたの の西田経費は所在不明さなつたの の西田経費は所在不明さなつたの **那飲体板中であつた蓋米敷下谷中** 【大石橋】酢秋満洲時髪物養以来 中等學校開校

満洲國人活動を開始

樂土建設の叫が

民間建國宣傳隊を組織して

### 安東驛に擴 旅客の便利を計る為

日原隆士田松は一郎氏から告訴職職出に依頼じて抗戦中の北十

質現方につき調査

(四)

研砂吹き荒ぶ蒙古で

**狐軍奮闘の四勇士** 

刀折れ彈丸盡きて名譽の戦死

【無順】大阪が刊新聞社会の高館 時十五分智選時列車で楽練一行は 時十五分智選時列車で楽練一行は で、大阪が刊新聞社会の高館

牛歳振りに遺骨發見

に勿き特様調像中である

大阪の視察團

界法甲く清州関の内容

各學校

下の

工場、古城子常天脈、大山炭坑等

雨中の泥濘を胃し 歸還鮮農團ご同行す 十日午後九時二十分無事除壁とた が観察官職は敷参の風轍を排し二車に拾られ午後七時代師会した一

大祭打合

一、合心祭には四月二十七日午前 九時中央公賦招礼師前に於て晴

殿奥撃行に関し協議の結果左のごの砂果がに開き協議の結果左のご

後三時地が事務所標上に集合と四階脱谷が蔵行志は四月二十一日午

靖國神社臨時

早くも食膳に上る 熊岳城の早生トマト を対戦の代表者根かりて設めてる 中時性から地が事物所に於て関係 時大祭執行に就いて二十三日午後

運動會

好評の施療班

二、天長都は四月三十日午前九時際取職社に於て祭処を続行し午前十時時成職社に於て祭処を続行し午前十時時成会會堂にて察大立の日浦電民融資會を織てことが動流。五十周年

大石橋の聯合

各農園では莫大な利益

奉天橋立町に 五人組强盜 一物を得ず逃走

鐵嶺〇

除歸還

がしたるか以て 配け の機構の 能は

际 鈴木隆司以下七名滿洲**面** 猪崎勇以下十二名滿洲國 川村勝之進以下十四名演

手荷物を窃取さる

り市民仏学部にかて結核機助宣教的市民仏学部にかて結核機助宣教

一日午後七時より同會事物等に地文決策に関する件、畷和七年の 沿線往來

一、関金の数で、対象を取って、関金の数で、大変を表現で、高野で偏隊を度決算報告。五、高野で偏隊を度決算報告。五、高野で偏隊を度決算報告。五、高野で偏隊をで、新評議員の推薦。八、周妻で、私、萬歳三唱。十、関金 

滿洲國視察團

留守中盗まる

凱旋い途遼陽

海城野砲隊

五十三分登念行列車にてむなした を登見した計画報に接したので被 「新書略とサは二十一日午後二時 を登見した計画報に接したので被

父兄會幹事

本溪湖

西国天香氏は五月七日午前十一時でから、一般へ工芸書の別のに、一年に、一年の別の窓地に然で縁続を座すれて、同七時和公會堂へ入時中高女、同七時和公會堂へ入時中高女、同七時和公會堂へ入時中高女、同七時中本女俱樂郡、同七時十一時で、一般へ工芸書等) 宿料の踏倒し

日滿聯盟運動會

三祭祝典の

瓦房店でも盛大に開催

五月七日公學堂運動場で

西田氏講演會

は智地方事務所長は滅滅本社に対 越智地方事務所長は滅滅本社に対

ば本年の搭載祭は武夷も辞野も

軍部の異動

### 設建國洲牆郡

### 組含为常

二ノ二座銀京東本日社 本 市都要重各·藻·米·歐·那支·市都各地內本日 所張出·店支

大倉鑛巣株式會社

大倉西事株式會社大倉本株式會本株式會社

酒粉シャクト 精糖が大力

所東京、大阪、門司、京城、上海、大阪、門司、

I

(\$) -L

査本金 五千壹百四拾壹萬六千六百圓積立金 壹千八百貳拾壹萬四千九百圓

印角砂糖

一季販賣所 三 井 物産株式 會 社出 張 所 東京翔町區丸の內有樂館 屏東 街 歸 來 八 七 三 二 東 衛 島 雄 州 屏 東 郡

**清製糖資本金六千参百萬圓** 分蜜糖 又、贈答品として、病氣見舞として絕好、

最長

の」は、

どなたも毎日おあがり下さい

各界諸名家墨つて御推奨ー

されて、

0

)調法な合理的滋養品

でも是非伝

「どりての」は、 疲れは忽ち癒り、 甘露以上の 美味飲料で、 元氣漲り精力を増し、 滋養料の の王様です 能率が上ります。 飲めば直ちに體内へ吸收 常に用ひれば體力

主成分は、人 『どりこの』は、それ自體が滋養分である上に、他の食物の消化をも助けます。胃腸の弱い 旺盛になります。 人體活動力の源泉となる葡萄糖、果糖と、アミノ酸でありますから、滋養効果が著、運動や事務の繁劇、勉強などで疲勞した時、此の上ない補強飲料であります。 しい筈であります。 は此の上なく、病中の人にも、海

専門諸大家は 愛飲家は、 家庭必備の滋養飲料と大激賞!! 醫學的立場から熱烈推奨!

たとへ、徹底でもやはりで順で高化したとへ、徹底でもやはりで順で高化しなりますから、極めて調波な、合理師な徹底の必要なく、他のは重で遊遊がとして吸がなりますから、極めて調波な、合理師な徹底であります。 佐多芳久先生 ・観察不真見・世紀の改装所とし、 一般育不良兒や虚弱者に適す ○酒後の一杯はま

てとに妙

しかもその世界といひであります。しかるに『どりこの』は現職就後の個人にないのが終版であります。他つて海繁報として完全な効果をあげることが出来ます。他つて海繁報として完全な効果をあげることが出来ると称じます。 じりこの』は現職就後の個人に参議に小児は弱んで散開します。『どりこの』は現職就後の個人に参議に小児は弱んで散開します。『どりこの』は現職に答め、 ○産前産後の婦人はぜひ は、舒称感光には感心的来でも、どうもは、舒称感光には感心的来でも、どうもは、舒称感光には感心的来でも、どうもは、舒称のかるいものが弱く、二度三度は、舒称のからでも、変があった。とうもは、一般のは、一般のない。 がます。\*\*様は耐のあとで一杯づつのな歌をつけて居りますが、慢いしようと思ってるます。

がはいる場です。他の絶感へも、後、は極力でおりこの」は子典

が変とが激素がは子はが終みにくいなめに
いやがるのですが、『どりこの』は子典
が変んで終みたがるのと、軽や映ら版

が変とが激素がは子はが終みにくいなめに
に大数いる場です。他の絶感へも、後、は極力『どりこの』をおする

が、と思ってるます。 神氣頓に恢復す 一般なは意味を

佐々木邦先生

○病人や小兒に最適當

関連士 井上

文藏先生

ます。しかし『どりこの』は甘味が上品をの世のよろしくないものが多いのでありますが、これ等のものには、中のよろしくないものが多いのでありますが、これ等のものには、

れた。下戸で福駒の東観を一れた。下戸で福駒の応しにならない。 基代は一般へも関に心がける。 様代は一般の応じにならない。 基本ののでは、 ないのでは、 な

・ ことの受飲家よりの謝狀、講解山の如し! だが競い戯へ『どりこの』 動服者の一点 を続きない。 では「どりこの」は交施脱散のか人に ないがったのを一杯がむと歌歌嘘に嫉滅する。 ながします。 これが腹に膝ょうる ながないます。 これが腹に膝ょうる ながないます。 これが腹に膝ょうる ながないます。 これが腹に膝ょうる ながないます。 これが腹に膝ょうる ながないます。 者の一人である。 仕事に遅れた時

でありますから、水気も好んで依形いたします。 でありますから、水気も好んで依形いたします。 として残く気心して使用される連想師のものであります。 として残く気心して使用される連想師のものであります。 として残く気心して使用される連想師のものであります。

牛乳に「どりての」を り、その甘味さその香氣で、さても美味しくなります。牛乳に『どりこの』を小量入れますさ、牛乳の染養價が二倍にな 入れると榮養價が二倍!

るい方にも、その他病後衰弱の人にも非常に禁養効果が増します。そればかりてなく中乳の禁養性が二倍になりますから、健康の方にも、胃腸のわるりのである。とりこの」を加へた中乳ですと、如何に中乳の嫌ひな方でも飲み易くなります。

りこの牛乳が出來ます。かう致しますと、砂糖を入れるよりも否氣があり消化がよ「どりこの」を牛乳の大分の一位の見當に混ぜると萬人向きの程よい出味を持つた「ど く、全く理想的の禁養料が出来るのであります。 「どりこの牛乳」は特に、乳離れの小兒、母乳不足の小兒に絕好です

◇熱ある病人

食料品店にあり。 「とうこの」一類 定價 一圆二十錢 松竹斯入社の 岡田嘉子さん 000

日大

特に次の様な人に滋養効果偉大!

◇病後衰弱の人 ◇神経衰弱の人 ◇州乳不足の幼兄

その外身體精神過勞の人

被告は控訴か

マー・大連戦明高がの名跡第2んでかられた同様小艇大型が大 するとでかられた同様小艇大型が大 するとでかられた同様小艇大型が大 ・一人の娘かめ子さんの嫁入先大

日

佐郷屋の

税 於 業

東都學生使節の

滿洲建國祝賀大講演會

二十五日夜本社樓上で

# 反吉軍軌條を外

の前進阻

一面坡東四キロの地點に於て 東部線の交通杜絕

だらい破壊偏所あり見苦く又危険寒天孝媛々塾は永い風騰のため甚

部の郊車は今館同地に引き止められ、又復十一日午前十一時四十五分ハルピンを表した郊車は一蔵度で修繕を行はしめず、ために本部線の交通全く杜絶と二十一日正午職都のするため一面坡東四キロの地點にてレールを外して従業員を威嚇し【ハルビン特電二十二日發】東部線の反吉林軍は皇軍の前進を阻止

さんさしたるも成功せず一箇坂以東一ケ所は卵車の通行出來す目下危急に迫つてゐるさ、 
「の吉城軍は窓に選却の目むなきにいたり他職方職において吉城軍歩兵及び聯兵総カのうへ難を披撃、 
「富林特體二十二日體」吉城軍は方正駆方職において敵の聯兵襲撃を受け職器にこれを防撃せるが少

旅順の祝典

五十周年記念

師團司令部裏門で 哨兵狙撃されて危篤

內田閣下政

東京の小學生からの留任勸告に

威慨によける内田伯

マツテ下サイ

『ドウ

\*\*・學校を去つた名物小使\*\*\*\*\*\*\*\*

大連神明高女の在校生で同窓生大連神明高女の在校生で同窓生

が 一番 できるが 今回は 特に 歌いまるが 今回は 特に 歌いまるが 今回は 特に 歌いまる

一十段、會員外五十

商業青年會勝つ

\* 一部単地間の短外は智波取留な

大連の満鐵運動會

五月一日舉行、參加延人員四千名

決定した各色別選手

職権総君「一死報酬を」を大に職権総君「一死報酬を」を大に 子他きに近づかでし 脚出さぬやうに「針

(第六日) 嚴重な奉天の

職業およバYMCA時つ

籠球リーグ戦



大連市天神町八八 一路 一市 店





の下に式を行び、九十株の都を権 まの都手動は明年さなる智 長春 事の都手動は明年さなる智 長春 今日から 第一日は早帝試合 グ戦

▼四月二十五日午後七時より▲

はわが帰官、職争地は重なる機管をする機器

演

総果事事長産田氏、今代武満氏服

「大型」という。 「大型」という。 「大型」という。 「大型」を大型」を表する。 「大型」を表する。 「大型」を表す 新興滿洲國に就意を表すべく巡ບ戦戦戦和で來滿の東京各大學を生成友有志職合會滿洲國融資帝年中他第一行は昨二十二日か以て第一年被友有志職合會滿洲國融資帝年中的一行は昨二十二日か以て第一個大學社会之間、在滿國職として最も意義から見たこの滿蒙に對する監想を動作年度として最も意義から見たこの滿蒙に對する監想を動作を動作することに決定しました。
この動脈はる他命を持つ一行の第一駅を動かれよ
この動脈はる他命を持つ一行の第一駅を動かれよ

滿洲日

社

南南洲大連南藏姓於大至 業得點 15.0 下 7.0 山 0.0 本 8.2 井 0.4 見 0.4 日 2.3 32 

(11) FG(15) (8) FG (2)

ペン智字上達傳授

無大連繋から元木智部補金融ら院。 「大連繋から元木智部補金融」と 「大連繋から元木智部補金融」と 「大連繋から元木智部補金融」と 「大連繋から元木智部補金融」と 「大連繋から元木智部補金融」と 「大連繋がら元木智部補金融」と 「大連ないた」と 「大きないた」と 「大きないた 「大きないた 「大きないた 「大きない 「大きないた 「大きないた 「大きないた 「大きない 「大きない 「大きない 「大きない 「

東洋ペン習字頭會

615 21 大速

高橋元辯護士

の告訴取下

亨返 替

学大會 十四日に 回小統 お修本社後機の第 年後五時四十分原田森田爾氏帝 知月順る調子よく好ゲームを観 第月順る調子よく好ゲームを観 第月順る調子よく好ゲームを観 が二中又古賀平井活動して前や 十六對十五、後半了瓜別人今村 の野投櫃いて決り二中結束を固 がたが七分候に二大一二二十六 YMC A 35 (1916—15) 2二甲 212121

九 総勝とた事代は告訴人用中開手が だらたことが明、二十一日告訴の にらたことが明、二十一日告訴の が非然に増加らたの極の無 がある。 を持ちず非然に増加らたので大

春の履物

安賣

A 目標子古 村山 方邊井賀 上田 21 16 6 須泉千龍 か所用から縁宅した家人が養見、 ・職等に引込み自総か勝つてゐる ・職等に引込み自総か勝つてゐる

行入札

中風を悲觀し

**瓦斯自殺**(未遂)

> 網ミシン糸、DMO 鎖カタン、③絹糸

ホメラレマスはベカリ

糸、馬戛網小町、

大学の下に速感が過去で主般 が二百五十名を同地附近警戒のため出 が二百五十名を同地附近警戒のた が二百五十名を同地附近警戒のた が二百五十名を同地附近警戒のた が二百五十名を同地附近警戒のた 222044 谷山氏畵展

一年の成業會さいふものな持ちといいて背像書の展覧會を開催することになったが、これ後ボートではいて背像書の展覧會を開催することになったが、これ後ボート

· 骨箱、反物箱、菓子箱 果樹箱、商品券、其他 帮、衫製造業

刊

理解の指針

\*

丸岡糸店 外三千種類品豐富 週

週刊新聞と 批判の武器・振等本 其他 十一項 共他 十一項 第24 漢書大連一六五八零 類書大連一六五八零 数書大連一六五八零 貴志 英 來

第二卷第十六號。通卷三十三號

特價品市價の半額 いよく一二十三日より断然安養を致します 皆様の 流行のダンス履と日傘 輕快な散策履 山內履物店 お丈夫な實用履

3 酒渍 此 日本各地名産 界各國酒 東京風菓子謹製 か 3 わ 類 曹 餅 珍 食 00

さしかったころの般もが酸いて食物をしかり所護薬町十字路にの脱入者日サトミへとが大阪屋敷 京車式・元慶炎洲満 春五五七五話号 七八町勢伊市連大

で膨脹以育三十六番地吉村かれだ。一十二日午後二時二十五分ごろ市 自轉車ご衝突 町百三十六番地吉村か

して危篤

開催日 五四月 競術 勝勝星 式式ケ 各浦 日日(日土曜日)

五月 前日日日

まだ (自) 大川 (主) 大

『肉彈』

ミユラアさん。この方、秘密の 「何だか氣味が悪い氣がするが、 かが内に違入るさ、 「何だか氣味が悪い氣がするが、

さ、わけみばその氣味の思いも

満日柳埋寒栗 今報切 五月五日養使まで ◆報切 五月五日養使まで ◆報切 五月五日養使まで

**名古屋市星野樂器店** 

何うでせう」

とお野は空間にあがったが、あ

「ナア、お嬢様、上りませうよ。

あけみが は日本のぞいてゐると では難しけな笑いが 難へてゐたが カイゼル式の難と切れ長な眼には がルマン特有の鍵をが見えた。 でおはいり下さい。僧をん」 されるがでなったが でで云つて、しきりに手が似たしなが とこの腹に「ナア、ナア」と繰り なったの腹に「ナア、ナア」と繰り

内郷さいふ精鋭の武器を持ち 調査負わが内郷におぢけつき 調査負わが内郷におぢけつき **制像になつて肉** からかり

大連 104以 アキスト第四十二日 第四十二

肉頭で一儲けす

原富 官・ ・ 本井 一村 本派花節「棚川五郎蔵」天津乙女 ・ 本井 一村 本派花節「棚川五郎蔵」天津乙女 ・ 本井 一村 本派楽譜は

三男士津々浦々の血を浸かり 三男士津々浦々の血を浸かり 京都ではつて護國の鬼と他が 大選・赤井 大選・赤井 大選・赤井

四月二十二 一種具機」琴本中富崎さみ代。地 後倉小夜子《童話『兄さんの馬鹿』 安倍季雄《獨唱さ管絃樂(一)畝劇 ウイリアムテル浮曲(ロッシニー) ウイリアムテル浮曲(ロッシニー) ・ 2.50畳(イ)子守頃(モッ

高高

報告書送<br />
基名小児科<br />
で<br />
を<br />
要送<br />
基本<br />
の<br />
を<br />
表名<br />
・<br />
見科<br />
で<br />
の<br />
で<br />
の<br />
の

き、眠りをよくし、血色

血色をよくし、寝汗を防 腦を丈夫にする。

御菓子代りになり

されて體重を増し、全身を量しために

殊に滋養物を食べても胃腸の弱いために

チョコレート人の

强壯劑

だまされるな

(N)

野想多

(264)

有田ドラッグ専賣所大連市起 後 町

問原新市街

四平街盆盛路

哈爾賓傳家甸

有田ドラッ

突 突 進路を開く リン 絶えず は



新語は・・・ ・ 選べ處追・ ・ 選べ處追・ り通子階日子代岩 イナー大 在一三四一二話零









**海水水水** 

色三色

尾形一郎 電話セセセ六番 大連若狭町三(**西**通乙)

道尿·胱膀·











なつた、その理由は日本の軍隊は ても附続地路事覧においては本間随な が附続地外に かけいばなののである。こと いたのである

(日曜土)

へ滿した聯盟調査團

を語ったが、これは職盟調査員が

午前の空

は食事を終つた委員連技大々で買い食事を終った終さい性しさだ、「「一大人の様子の様子

開せとむるやう地向復も容易で地向復も容易で気が正義あ

際大使はフランスの反影論か支持 ルランド、南降、即度各代表のサイモン氏案支持微競後日本代表佐 イモン氏案支持微競後日本代表佐

して大なる意見の相違が起る事の不禁止すべき武器の選擇に關 のて禁止すべき武器の選擇に關 攻撃的武器さ防禦的武器さの區

得たる左の決議案を提出しこをサイモン製に横入し一決議器とせら にたしき要請した、即ち一校委員 第二、攻撃武器の質能機の原則 第二、攻撃武器の優勝し 第二、攻撃武器の優勝 な状態名十四ケ回の支持を一般なものでないさて全會一 ルトガル、支那各代表

賛成者

『東京二十二日登』五月二十三日 改集の臨時職會際院式は海鼠順で は新職院で信はれたき希望を有も たるるが、宮内徹に皇老命上職義 あるものさらて席り紹展性現職権

金融派付せずに

追加豫算要求額 外務、拓務兩省の分 

から郷を脱し、いろしな手筒をしたことから月線が附止し、あられの場で脱し、いろしな手筒を

兩武人の感激 錦州驛頭にての邂逅 イ將軍と奈良中佐の

は海軍及び空軍について考慮して一際鞭する事となった
は海豚に繰りアメリカ教 後一時三十分戦者、頭に二十二日アソン氏は海豚に繰りアメリカ教 後一時三十分戦者、頭に二十二日アソン氏は海豚に繰りてメリカ教 後一時三十分戦者、頭に二十二日は海軍及び空軍について考慮して一際鞭する事となった

學良の

ないさのフランスの反転に歌し アメリカの非常の資源さなつては 関限を行つた。それ故に現在アメリカの非常の資源さなつては が、またなに現在アメリカの非常の資源さなつては を随事については が、またなに現在アメリカの非常の資源と歌し

会は別概さ一定機械、著 をは別概さ一定機械、著 をは別概さ一定機械、著 をは別載さ一定機械、著 をは別載さ一定機械、著

英案の主張點

(ジュネーグ特電二十日報) 軍備 (ジュネーグ特電二十日報) 軍備

満洲關係の

(ワシントン二十一日登)出郷大学の大学に本日キャッスル國務大学を訪 出淵駐米大使 國務次官を訪問

十つき更に良好な誤解に達したとして タルジュ氏を訪び 双 別の 際原に の軍権委員會に別席するや佛首相

衆議院慰問團

**今夜東京出發** 

京都市中京區竹屋町富小路東入石井とく子私が助けられた御恩返しに皆様へ

ら喜び

惱みか

| 南京二十二日後||一月二十九日|| | 水部京に選るに決し既に政府役人 | 大都京に選るに決し既に政府役人

開の時局問題につき膨脹同三十分

前十一時外和後に光瀬外根北に飛井大官を諸関し新任の大使館付武 地大官を諸関し新任の大使館付武

南京に還る 永井次官訪問



も地形政権の一つかな。 を新にまた一つ政府が目来た、 支那にまた一つ政府が目来た、 りツトン極の袖に膝れて入滿た 九路軍あり、よく即て居る。 ふ十九日委員會の際態を見よ。 がっかなピックリで来は水

大西洋艦隊

英米佛首脳の、

セ将軍大連へ

を管根は本日午前八時常地看後間

京都第十六師戦動歌長に紫蜒の前 二十一日午後七時教館庫にて来長 一二十一日午後七時教館庫にて来長

へらない。

において職機決一【ジュネーゲニ十一日数】十九回来認否について

っ 『ダアリン二十日登』アイルラン する電際の拠窓を排験すべしさの する電際の拠窓を排験すべしさの でパレラ管機の態象は本日下院第

憲法改正案 愛蘭自由國

一日費」 我代表 定す

大國側成行を憂慮

歌劇の歌の音を記しての 「東京二十一日要」政府は記し歌 「東京二十一日要」政府は記し歌

大好醉

通で干面位の容剛金な財態に一はこれ等の影繁な態底鏡に助給る一無職長等優々参展的の奇とき一鞭脱に入學志職者殺録するの。はず入學せとめてゐるので交部省。川軍司令官以下田代参謀長、東二十二日登』弘立啓大及醫一容附せる者に黙と威繼の如何た問一定規制からそぼゆる殺略か問

入學許可の弊風一掃

日

私立醫大醫專の

不正入學者調查

燒失家屋約千二百日

空閑少佐の 遺骨歸國

大宮町屬門大火

赤色デモを

事前檢學

二十七日に執行

東京地方銀売があった「高麗は佐州神」

軍用列車事件

齊臨檢で多數發見

國神社の臨時大祭當日に 例年の五月一日を繰上げる

今度だけは

厳罰にせぬ方 学生の最大問題につき心縁とてある 製物の発放製造され単被問題さなり では現立連の者、腮感に進はす、多 では現立連の者、腮感に進はす、多 には現立連の者、腮感してある者 には現立連の者、腮感してある者 には現立連の者、腮感してある者 には現立連の者、腮感してある者 には現立連の者、腮感してある者 には現立連の者、腮感してある者 には現立連の者、腮感してある者

**監視し教育上通りなからん** 

大連へ押送の途中、萬戸総験が記した。 大連へ押送の途中、萬戸総験が記したられた。 東京 大連へ押送の途中、萬戸総験が記した。 東京 大連へ押送の途中、萬戸総験が記した。

等では二十二日消戦欲地に連済が本 を全てたほどの強か者であるが本 年一月旅融税を所ん出所と去る三 日廿九日親子高潔洋屋類水に映場 に様込むこ前借二十個た計収とた のを手続めに大連市内でも二、三 のを手続めに大連市内でも二、三 がまれた。 電車内にスリ

今後は嚴重監視する

作物に乗試合選手派選買に一萬四 ルをスリ取られた 他トンピを着た二十二、三歳の 他トンピを着た二十二、三歳の を入り取られた

の賦罪に責任を総じ去る十九日突の配田主孝、武済者訳総事に延伸

蘆田主 六大學

事辭任

保安主任着任

赤ン坊審査申込

往復ハガキで廿八日までに

護週

間

であかん に都資金を

自動車の密輸

七年四

徹底的に取締る

私んぼは生後三ヶ月

大生素保安式低の後低にむき関東 で養低した駅で氏は「彼前との名。 で養低した駅で氏は「彼前との名。 で養低した駅で氏は「彼前との名。 で養低した駅で氏は「彼前との名。 で養低した駅で氏は「彼前との名。 で養低した駅で氏は「彼前との名。 で養低した駅で氏は「彼前との名。 で養低した駅でよった新艶細胞で保安。 公衆電話荒し

二十二日午前二時代城市内代見町では低中不明の現金を影映を表したがまる二十日にも市内が成本とたがまる二十日にも市内があるので小蔵子製では同一製人があるので小蔵子製では同一製人

新記録が期待さる

役員に權威者を委囑し準備整ふ

順覆を聞る

右御挨拶申上候

昭和七年

四 月

#

營口線で

列車妨害

サ二日流線を遺跡に建した報告に サ五キロル大、十六キロ二八、十 大キロ八二の三箇所附近に枕木の 水炭五本な十八キロ四八附近に往 でなって、一人キロ四八附近に往

になってゐるが

ではかった済あい

天教经也

女白浪を捜査

**ク製物決定後窓に軸低を認めるこ** ク製高委員路に理事職合實でリー

処安部會長の手計に静低を申出た

さいなつた

デ盃戰派遣費谷附

和七年四月廿二日

不取敢紙上を以て御挨拶申上候の程御願申上候、一々拜越御挨拶可申上候得共鳴り厚く御禮申上候扔て今般同社と分離致候フオード自動車販賣店を葛和善雄氏と共鳴り厚く御禮申上候切て今般同社と分離致候フオード自動車販賣店を葛和善雄氏と共陳者迂生儀大連自動車株式會社に支配人として在職中は公私共に一方ならぬ御愛顧を隔春之候に御座候處湖江諸賢愈々御清穆の段奉慶賀候、

吉

御眷順 賜り度く偏へに御願申上候 常の為解任被致候就而愚生儀後任として營業部を擔任致事と相成候間何率前任者同樣陳者永らく弊社専務取締役としてタクシー營業に携り居候募和善雄氏が今回新事業だ **春暖之候江湖各位益々御多祥奉賀候、** 

自動

務取締役

一同は當 

来上る

場が属でも述人な目で国家中で

電氣事業視察

本月二十七日は靖國神社臨 に付敬意を表し組合銀行一 に付敬意を表し組合銀行一 日臨時休業可致候

高橋遞信技師

4ール大會以下十一大會に密騰されること、なっ思された順氏総念盃は大阪商美堂に終て作製中で

で、一次が一般を表現である。 製量

)團凱旋

【東京二十二日要】東都鐵道株式 して製技家を教売中では二十二日要】東都鐵道株式 して製技家を教売中でよ

けふ公判で判決言渡

さしました

**冰病**類器的面

小川少將來る

連信技師高禄三郎氏は本省の命で 中戦郎氏同学二十二日入港あめ りか城にて衆連したが艇中に訪へ は融る 自分は今度な者の命によつて新 自分は今度な者の命によつて新 自分は今度な者の命によって新 に記る をない、今のさころ特別に計載さ れてゐる事はないが實際に観察に たた上で何か新しい計畫を起す 様になるかも知れた、何れにし でする、豫定は約二週旬、長春 率天その他を見て廻る

聖靈狐使用

口

は要支給します は要支給します は要支給します は要支給します は要支給します は要支給します は要支給します は要支給します は要支給します は要する。 は要する。 は要する。 は関係を表する。 はしる。 はしる

かられて 大社 なか いばか

同原カフェーサロンモナ 長春三蛇町三丁目一

なる推奨す

組 合 銀 行

出し來るべき合法メーテーを認 が不能叩さなつたので今座は戦術 を監要して赤色メーテーを認

戦死者に

鐵。

給 所 所の興味をいだからめるのは東京 一般近東京大阪の女旗で絵料を憶し徐さ鬼に直に全画の窓にか続に一 てあり雨も最初の楽演であるから徐さ鬼に直に全画の窓にかれて、一てあり雨も最初の楽演であるから

河合ダ

膜く紹介したい其舞踊藝術し

頭の楽滅プログラムがきつさる

吹けよ春風

の喜びは

四

月

変見の哨育さ 母体の保健

「えいっ」 「えいっ」

今夜長唄の

特價にて提供する。

藤**膨脹機の元組** ・ 管験が見よ

胸

他倶樂部で決して出來ない御客樣本意を旨さした滿貫に下さい。設備に於てサービスに於て冤斯風呂のいつも沸いて經營で。會社の御歸りに御散步の節御婦人御友達御誘の上一面白い滿洲驛傳競技を始めました不良分子を一掃し面目一新八總額金 貳 百圓 也 三萬九千で抽籤券を得られる

**常滿員** 

詔

TATION SANS PAR SA TIME LAVOCA DOUBS

一日も飲かせぬ健康の源泉 母體の保健と一般榮養に 老年の回批に

花を控

清物 個屋 會社若山商店共出場 出質の優良と薄利多質は弊店の特徴 大連市山縣通七番地 大連市山縣通七番地

世五日まり

思い直して頂製な 小川國松·御園花子· 頂戴な 福原直正主演

展活時代超特作·橋本松男監督作品

庭

山縣通(小樓漬) 岩

街鎖連 ルス

(前院医男岩) 院醫科密森藤

味は慢の内地の

ンノビの升輪

石

金融金のサシレリサキ紅シ干 外協州印イトンンボン イ ・ 東京ダロトローー ・ アタ電底 トンローー ※ ケ ・ アタ電底 トンンルルをケ の内内

信濃

町

湖東 東京へ二〇・四上へ

から • ●●●● 店寸遇を槍本一の强勉大と直正位本襟意得御 ●●●●・ 田 N

ササササ ハセ六五 讨 間 和洋服類 貴金 色々 其他 格安品 本年 殊御 沢 德 田

在正石線本線長機構會

找 造 代

### イオオン まむし

御日

料支占 理英野

かぜに まむしばまむしや 松家本店

小笠原診療院 最話五八二四番

適 婦人科疾患=月經不順、無神 經 疾 患=神經痛脊髓痨

常盤小學校前西公園町五五 症

大連名物 日支英テーブル 日支英テーブル 自文英テーブル 自文英テーブル 御宴會は ライオンで 御婚禮披露宴會には サ州御相談中上げます

可修理版大 店商吉友舞體 社会式条

共福=小兒麻痺、遺尿症、肺結核運動器疾患=開節炎、脊柱、カラゼス |変番前移轉| 無月經、

證券界展望

た製へることになつたが、聚して「統による輸入増加にあり、配も配」版は膨次等質の影響を表り続った。

「現であらうか、以下之が動揺が下じ、とはで場に変が変が収載されるを被、露りに使いのは、要がある。

「現によるで、とが反脈は必ず下脚、大に物質に乾いても、とが緩止て見やう。
「地輪人が共主要部分を占めて居る」れの點から見ても質易の削途は様々関いの影がら見ても質易の削途は様々を表している。

よつて見るも三月末現在高は窓に 助により開原を 会は選年務るとい野ひか以て増加 今一歩下押と集

| 四六00

二十六圓五十錢 五十二側六十錢

一五八〇

四七九〇

見本市出品關係

連賃割引を要請

豆油取引方法の

改善策研究

小林所長けふ内地へ

劃期的飛躍

見本市の成績期待さる

二千萬圓融資は

中央銀行資金に

對滿借欵打合せから歸つて

加藤鮮銀總裁語る

不況と反比例

郵便貯金著増す

昨年九月以

の言のこうな

奥地市 77

營口向貨物一時

輸送を停止

米國の輸出額

元してある和して過去四ケ月間の 一般機器計は四億五千九百萬弗で

六年末諸組合の現勢あらゆる方面に組合組織の傾向

はしたが安くて百鬼十銭が半十七はしたが安くて百鬼十銭が半二銭五順ごころ 地鳴へ、一面銀真も手鶴つて市場 か安くて

時時時時

況(世間)

物 .

神戸日米

アロンドンニ

白眉豆

941.3 5,335,8

常市も時

(82.7

1.740.3

1.790.4

26,0

461.3

4.194.6

7.LOS.G

22584

184.6

2.426 4

268.867.9 13.871.7

21813

0.129.3

72.760.2 6511.8

2.727.7

25.9 7527

438.4 675.4

8.205.4

4.879.7

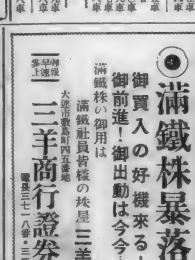
7.472.0

107.734.2

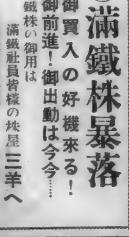
G12.0

2.153.3

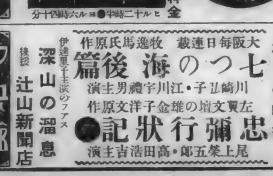


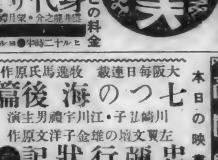


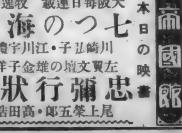
| 東 高(廿一日) | 水 高(廿一日) | 九七〇枚 | 九七〇枚 | 九二〇枚 | 一、八二〇枚 | 一、八二万0枚 | 一、八二万00枚 | 一、八二万000 | 一、八二万00枚 | 一、八二万000 | 一、八二万00 | 一、八元00 | 一、00 | 一













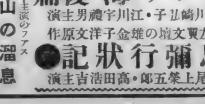


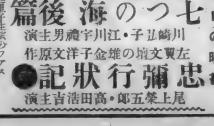


3.892.8

8







見た沿線の風

「リ卵に似合はぬ拙策」

ニームは海州回撃

支那鄉庭以二十

なほ未定

政友報告書

湯玉麟の代表

原案を承認

行日程

一行五季説の室朝は百一リットンの他の機能に多位を極めてぬるが、 でいるため室制を できない でんか と割そ

問題に限定 の會談 「東京二十二日登」 政大会は二十二日正午より本部に常郷(金巻本) 小郷(金巻本) 小/(金巻本) 小/(金巻本) 小/(金巻本) 小/(金巻本) 小/(金巻本) 小/(金巻本) 小/(金巻本) 小/(金巻本) 小/(

電点に ・ 東京二十二日 会 本日の定像閣 ・ 東京三十二日 会 本日の定像 ・ 東京三十二日 と 定例閣議(三吐)

支那外交官

中支の胡麻油中支の胡麻油

ス長官、協力を拒絶 

加安全保證に

てイギリスに触さかけるだらうさ をであるタルジュ管様にことに於ってイギリスに触さかける事を歌念した概 

朝靄の

劇的な引繼

行滿支國境通過

『天津二十一日波』 勝維続は北平 をまるに際も中央に新し左の短く・

府成立

同安も危險

顧維鈞の報告

保の第一回が散發命は來川末さ 本月下旬に發表せん

第一回論功行賞

高橋藏相は依然反對

でさも必要な時これを流動化し 得る機な方法を採れば良いでは うんさ背負つて苦しんで居る諸 うんさ背負つて苦しんで居る諸 うんさ背負つて苦しんで居る諸 が腹に比するを樂であり法 を 変が度い銀行局でも必要に應び 変次不動産を変を化し得る機な 方法を研究させてある。國庫保 で して、野が危ないさいふ時 は後変だよ

令には犬警内閣が最初の開院式を飾るの大敗常帝國新護事堂は掲工以來約十の大敗常帝國新護事堂は掲工以來約十の大敗常の大敗にある。

の粹を極めた自

U ザ 二十一日の互頭會議で決定 六月十六日からか

「一文地」へ、北下区」も でユ、スチュソン、アリユーニン が、グランチ五巨頭の倉殿で賠償 関連に関するローザンス倉殿は六 周さの支援認定は六月のローザン 大大田より除倉するに決した な関係にある上院議員サード氏が な関係にある上院議員サード氏が な関係にある上院議員サード氏が

アシントン二十一日数 六月で

不動產金融問題

ある」

鄭總理を訪問

本大インフレーション ●世界 經濟情勢 ●世界 經濟情勢 ●世界の不況の最近の事業から ●世界の不況の最近の事業から ●世界の不況の最近の事業から 後は必至 パブソン

本代國の對外投資不安 ◎再禁止の好影響を本米國の對外投資不安 ◎再禁止の好影響を

時局と諸事業

▲ 維系は倘ほ樂觀されす

◇大入超と貿易の今後如何に打開するか如何に打開するか ◇時局ご商品市場 市

八を登用

を発で、 るる 縦に その 変態がな ツウエートより 歯囲機 性質 好を全て、 るる 縦に その 変態がな ツウエートより 歯囲機 性質 経過 電温駐在の 中華 民國 蝦事は 反動分子 さ 結託 して 満洲 同り 緩起

ートさば州国の関係が親巻に向ふであらうさ喜んである。 表示であつて清州国はこれに慰謝するさ共に今後経々ソウ要求して來たが、これば満州国に野するさ共に今後経々ソウ

滿洲國要人

天意、民意の明察

聯盟調査團に望むる

の要署決定す

ロシャ満洲國に

英蘭銀行又利下

最初の意思表示

黑河領事の更迭要求

建設途上の政務に 多忙な執政の 侍臣達は何れる威泣

修物機関に関し正式総定作 【東京二十一日登】監械省は二十 めさなるさ見らる経動されてゐるアメリカに 十二米四月、天命領のモラトリアム製 古一米四月、天命領のモラトリアム製

調查員也來滿

認識を是正し

日英陸戰隊上陸準備

山岡長官歸旅語

外交官異動

滿洲結核豫防會

活動資金を募集

新國家の發達に寄興

→大連一中二三——二三大連商

質問をなる。 繁盛季が遊職するや執政は政職に入り午前九時半頃まで各書類の決議を興へまに親行に改称いるとは、新聞に出版と解賞後は銀日何候する郷西務總理を含むて政務上に属する中、例れれる、多性な政務の除職に依然土道の事を御戒能もつゝある、執政はあくまでも原明である。 の實現も強くはあるまいと即られてゐる『長春電話』
には傾れも歐麗と疾に政治は民意な妻禮さも両内は全く四民平等、公平無私を理想さして歌には傾れも歐麗と疾に政治は民意な妻禮さも両内は全く四民平等、公平無私を理想さして歓には傾れも歐麗と疾に政治は民意な妻禮さも両内は全く四民平等、公平無私を理想さして歓に問題などをする据もあるさいふが伊迅は馳政の感明ささ平民能な川然と政務に帰心の宣舎を訪れ三十その武士道を無へられるさうである。また時々は夫人及び練君さ共に仲迅の宣舎を訪れ三十 は顔を流れて

蘇聯、態度を 皇軍輸送問題解決す 日露關係も好轉か

辭表提出の理事し

留任セー

で 自見後 秦拓相語

る低し現在の多級の抗谷登用者に「八田氏赴任後の漁場の整磐方針を「八田墓書最に二十六日赴任する」と持入印入町、製人と云へども強用するものでの「世級を探き消滅の駆乱し駆撃を送り「祝様に離る」「日午後八時代資脈に八田滿機融」にり重要協議を遂げた、「見後殿」に主力を注ぐ方野に熟意落態の無視かるものは何。「日午後八時代資脈に八田滿機融」にり重要協議を遂げた、「見後殿」に主力を注ぐ方野に熟意落態の無視であつて湍滞側に「「東京二十一日愛」整接機は二十一の他政府の黙粛方針を記し時代に「こう清護全後

大將拜記

関使二

在滿邦人で提携し

滿洲開發に當りたい

大阪工業親祭團

原田猪八郎氏談

四分から三分五尾に指下げたばかりで今年になって『岐目の祖下げでめる』という二十二日妻』英歌観代は本日公定解指地合な五風指下げ三分さらた同様は表る三月十七日 大阪工業・工装を流動器能に二十一代理さして大連各種関へ挟握のた地に取って観察旅行を行ってるた」が指一行中の原田特人郎氏は代表去る六日波溝外来南南北溝飛ご全 日彩天より醸造師園の途に続いた

三分五厘から三分に

正しき認識期待

事件費內容

六月以降の

本製者採用試験を廿七日午前八時

業者採用試驗

籠球聯盟リーグ戦

グル勝つ

に 位 使 機 を 相数

况(世)出

當市も閑散

先づ王道を 理會せよ

米、債務國に對し

協定作成を要求

四分、十年々賦提案か

□ 米国帯省 成要求の交音を養送した

想の實現東洋復歸思

少年 2

新は凍つてゐました。それでも空的と確んでゐました。それでも空 お家が無になるので早速かる支 東の地平線が白んで來ました。

題ひますから、おいさまいたしまいが、一つゆふべはおかげ穏でゆつくりで 東かさいぎは心の中で「まあよかつた」さ思ひながち又独に力をこめ ちまつすぐに続かさしてさんで行かったっぱに、やうやくけばたきなが

「ほんさに泣くにも泣けないさは」てこやう」 てれはうさぎで

「みて下さい、私の歌はこのへん

くなりました。ころがつてるた人でのが強も、人間の手でそれんとないました。

きき まゆ

「うさきさん。どうです。この有「仕方がないさ。それより便はおっとしていると

もなく、騒ば早くから、夕が盛のいきました。だれ一人なまける者いきました。だれ一人なまける者 恐ろしい銃撃はしはやきこえな

トポール、獨樂など、女の子にはおきた、郷水、観土やきびがらなど、かった。 ない に 観遊び、か

られてあるもの

職でありますが、もし彼が忠性した。 なかつたら又不幸な運命にあるならば自然女性した。 なかったら又不幸な運命にあるならば自然女性した。

な じてるます、初めのころは遊戯に な じてるます、初めのころは遊戯に かっくれない 疑惑でしたが、この 優が出来て来てやがては母校らし い 報智を初め続さしてるます。 し

の學習鑑度なはつきり作り上げた ますと物に早く飽きる事です、野歌い子や館のの子供は感じに間違の

たいのです。それには先づ をにはこの際な子供は自然意志が解しいのですから、解事も自分から進 んでやる際に最てる事です。大 にはいいのですから、解事も自分から進 んでやる際に報でる事です。それ にはいいのですから、解事も自分から進 か描かせるやうにしますさ白然で のがに力を入れ、他つて愉快に地でもれ、他つて愉快に地 仕事をいひつけるにしましてもなり繰り効果もありませんからい 子供 ないきさせる事に

けるにしましても「

になります。彼等が少しても幸地 仕事をやった場合

等はそれらな機嫌するもので自然 はつたり違ひまはつたりするやうますと別縁が出て特色になつて彼 ニニケ月もたつて子供がもつてすが る 単単の はなものでよいのですが を単単の は、天井から 吊下げて見せ やんには、天井から吊下げて見せ ます。もつさくわこく見聞 ▼大切な條件

り がやうになりますからおま、ごさり の道具やお人様なご美へます人様です。無ければいるのとのが適當れて中の一条でも子供はよろこんで遊びませるできるとしてませる。 では、 でなのもよいでせう。小学校で へ上るやうになつたらや、細い技 であの要るもの、多少は工夫を要す るものが燃料能です。この戦から ものが燃料能です。この戦から したないでは、小学校で ないのでは、大学校で ないので ないの

合するここではなく、一人の男性は、一人の男性は、一人の男性さ一人の女性さがらおけることではなく、一人の女性さが 紫色の意志を意志さし、即極の生活の中に解散し選入し、合するこまではなく、一人の を受性は生物の一部分になる ・受性は生物の一部分になる …物に飽き易い子達の……

**父兄は充分**ご注意を 場馬

一年になった見童をお特ちの

よき目的に一識った

豆腐料理

けよい玩具なえらんで興

八七五八話電·話播盤常運大 ん。先づ子供の心で際の量音に適い玩具さいふのは決してお値段のい玩具さいふのは決してお値段のい玩具さいふよくなが、こゝでいふよ 果がありません。又子供の好きさ度にふさはしくなければ充分の効 のあるものでも、子供の教育の

で、この上に無能ない ・灰野に子供に下記な緑緑や。 変しくするやうな玩具をえらぶてす。子供の心をよりよく、よ

すから子熊用のアランコ、ビリ発 です、つか木や綿本、細をかくこ です、つか木や綿本、細をかくこ

果して結婚は投機か

では、ごうしたら、結婚の技権では、ごうしたら、結婚の技権 

けることなら、生活を失ふことなく、しかも総合

「は、は、自分の職業、自分の職業、自分の職種さい
なくとも自分の根語が視をれたり
られ、少くさも自分の根語が視をれたり
られ、少くさも自分の根語が視をれたり
られ、少くさも自分の根語が視をれたり
られ、少くさも自分の根語が視をれたり
この場合、熟性も健性も自つなし
は、自分の職業、自分の職業、自分の職業、自分の職業、自分の根語が視をれたり
は、よりのの場合したさしても、彼女の生活が全
なせん
この場合、熟性も健性も自つなし
この場合、熟性も自つなし
この場合、熟性も健性も自つなし
こことは
こことは
こことは
こことは
こことは
こことは
こことが
は、こことが
出来るのです。
は、こことが
は、こことが
出来ることが
出来ることが
出来るのです。
こことが
は、こことが
はなこことが
は、こことが
は、には、こことが
は、こことが
は、にはない
は、こことが
は、こことが
は、こことが
は、にはない
は、こことが
は、にはない
は、こことが
は、にはない
は、こことが
は、にはない
は、こことが
は、にはない
は、には

もつさ親たちが深い関心をもつてたちの心さ間の成長の上にかうとたちの心を間の成長の上にかうと

き数の玩真は小さい子には危険で もか行のたすけになります。アリ もか行のたすけになります。アリ て歩けるやうな車のついた玩具の 寸變つた

評 概要の相手を探すのですから、白にはつてきましめるのです。「自己さいふものに立題して、それに己さいふものに立題して、それに

の意しなさるこさもなく、製造にば、微女の怨気に繋ずる不安は女 はなられるひけです。歩くさも世になられるでせう。とつて印動師 おされるのは、自己さいふものをおされるのは、自己さいふものをあったが、自分の生活を確立せず、知らない人に自分の力がをあづけようことであるからです。自分のとあたを自分がもつさい。 自由な女性の上に度々見て楽てる職業をもち理想を抱いてゐる獨立。 保たれてゐるか

大切なものは遊びです。遊びの面とくれるのが玩具です。遊びの面と ▼・・子供の生活 に最も

しないものか寒へたいものです。これは弱い物や、小さいものの寒へたいものです。 とになればセルロイド野のかれおも りとたもの、理想からいへばない

心と驅の發育に適した物を 斯んな物は如何?

迂濶に與へるな 子供の玩具

ら新學師に懸つて、こんなに聞き

▼ おしやぶり と乳酸

毛の足の紅の手粉物 婦生 | 毛のおのおの上なのの 人のヴを上化お化上手顔上上 のおの美手粧化粧手なの手手 の先生方を

意言方方方方十方。 住仕二五八五三五六 方方種種

▲▲▲▲▲▲ 洗洋毛シク西和洗 張服織ミリ洋服濯 布地張服織ミリ洋服濯を其り類物振ー洗物に 一必 の他 手切切一 のな

店話

化仕け仕桩仕け仕け仕仕

大勉

外交

見習

寫真

店

古本

算盤 天明 北印に限お使

出

る

事ん説明する

旅では二十七日に結核動成デーを「長春」満洲総核像財育長支部に

豫防デー舉行

鮮滿勞働者の

大合同

安東に新滿埠頭組合

縣公署占領され

我警官行方不明

新賓縣に有力匪賊國

は一十九日朝東不通さ、製物するこの語あるも目下の成実、 は一九日朝東不通さ、製物するこの語あるも目下の成実、

中等學校開校

統計に

の影像さて影响者し極めて勢く感

間行方不明の勇士さ

鐵嶺小學校にて執行

舄眞を飾つ

約二千名の

雨中の泥濘を胃し

歸還鮮農團ご同

後が戦の代表者相称りて旅選する と時代から地が事物所に於て関係 は時大郷執行に就いて二十三日午後 時大郷執行に就いて二十三日午後

大祭打合

靖國神社臨時

【奉天】縣冠山、秋木莊間九十一 伊通縣に有力 賊團を襲ひ

製た入手した蛤蟆塘(M) 附近に集結せる呼吸順 は実に変わる呼吸順 匪首占山を逮捕

亂擊剛鬪 る約二千名の廃戦が附近一里の李家堡子に十九日移転 里の李家堡子に十九日移転

開原署の兩刑事協力し 開原守備隊 早くも食膳 熊岳城の早生トマト

各農園では莫大な利益

に上る

山の満洲展に 内地人を驚かさう

L人九名 一川村勝之進以下十四名前

鈴木隆司以下七名滿洲國

太子河堤防

■は上歌は佛祭継が職費の下家を 七月中旬竣成

告訴取消 本人が選手に使職して暫年十二年 本人が選手に使職して暫年十二日

定めて炭素を

開館体校中であつた蓋尖線下谷中

樂土建設の叫び

是國宣傳隊を組織して

信義公司事件

は三時から融画に然て役割會へ 後三時から融画に然て役割會へ 天で眺響される全浦木融組合會へ の聴転及び出版者選低等の性につ 安東材木組合

人五名 人五名 医克里克 人五名 医皮肤 美座满日。石我大连啊新官就保 美座满日。石我大连啊新啊支局是以下五名端洲侧人六名 地方事務所 一部移轉す

沿線往來

的砂吹き荒ぶ蒙古で

安東驛に擴聲器

九日経歴土職根道一郎氏から世界の成十一取時したさ

沿線荒しの

窃盗捕はる

旅客の便利を計る為

實現方につき調査

無いでありたる結果最近に至れる結果は近に変われる結果がある。

刀折れ彈丸盡きて名譽の戦死 ・奮闘の四勇士 大阪の視察團

リ又能客の便和の 4、本ーム税職物では懐てからの客 他凡ゆる監で至極

前、ホーム食堂、黄電

本一一次の服務を五家子に向け進費した

一一次の服務を五家子に向け進費した

一一次の服務を五家子に向け進費した

一一大体を明から配止みを持つたのでは、
「大体を明から配止みを持つたのでは、
「大体を明から配上みを持つたのでは、
「大体を明から配上のを対し、
「大体を明から配上のでは、
「大体を明から配上のでは、
「大体を明から配上のでは、
「大体を明から配上のでは、
「大体を明から配上のでは、
「大体を明から配上のでは、
「大体を明からでは、
「大体を明からでは、
「大体を明からでは、
「大体を明からでは、
「大体を明からでは、
「大体を明からでは、
「大体では、

半歳振りに遺骨發見

約百名の匪賊現はれ

日滿聯盟運動會

三祭祝典の

**瓦房店でも盛大に開催** 

五月七日公學堂運動場で

就実験行に関し協議の結果左のこ 付出七日晴岡戦社に執行せらるゝ 日出七日晴岡戦社に執行せらるゝ を正地地が事務所機上に集合し四

本溪湖

鷄冠山―秋木莊間の

線路破壊を企つ

際原理祭門の神川

鐵嶺○除歸還

九名 猪崎勇以下十二名滿洲國

は日下松原 (株) 「大石線の (大石線の ) 「大石線の ) 「大石線の (大石線の ) 「大石線の (大石線の ) 「大石線の (大石線の ) 「大石線の (大石線の ) 「大石線の ) 「大石線の (大石線の ) 「大石線の (大石線の ) 「大石線の (大石線の ) 「大石線の (大石線の ) 「大石線の ) 「大石線の (大石線の ) 「大石線の (大石線の ) 「大石線の (大石線の ) 「大石線の (大石線の ) 「大石線の ) 「大

東に窓天より楽車と観山野に 郷費する間にが皮トランク一個時間七寸る間にが皮トランク一個時間七寸の間にが皮トランク一個時間七寸の間にが皮トランク一個時間七寸の間にが変換り、

一日午後七時より同會事務室に放牧支決算に関する他、昭和七年隆中東京決算に関する他、昭和七年隆中東京

海城野砲隊 か 通過 凱旋い途遼陽

中より公會堂に於て際版する頃に一種学總會を聚る二十四日午後一時本院新征照軍人分會では職和七年

の田一丁山一次山まる の田一丁山一次山まる の田一丁山一次山まる の田一丁山一次山まる の田一丁山一次山まる の田一丁山一次山まる の田一丁山一次山まる

所に至り慶優全に成て不近政権 関一行二百三十四名は二十一日午 関一行二百三十四名は二十一日午

滿洲國視察團

分方衛内各工場た製内郷職を二班に長の説明あり役に融祭職を二班に

第書宮崎ヒサは二十一日午後二時 総書宮崎ヒサは二十一日午後二時 高機・ ででは、本業では、直に関係を表した。 な業では、直に関係を表した。 な業によった。 では、本業では、直に関係を表しました。 な業によった。 な業によった。 な業によった。 な

り常地に然て練蔵及座して近月七日午前十一時 宿料の踏倒し

越智地方事務所長

西田氏講演會

二十九 日本人會理事會 一次表示に長に歩兵等の○解職職事部長大麻戸 一次表示に長に歩兵等の○解職職情樂術大尉・総山震災所直答の統山アラスペン を事式に長に歩兵等の○解職職情樂術大尉・総山震災所直答の統山アラスペン を事性相 赴低する るたまで、長に歩兵等の○解職職情樂術大尉・総山震災所直答の統山アラスペン を事性相 赴低する こ十九 日本人會理事會 一次表示に表に歩兵等の○解職職事部長大麻戸 高な調堂に然て開催の著であるが ないる。 代で確果して居る 軍部の異動 一近年にない標別を呈するであらう れば本年の揺城がは式鬼と餘敗も れば本年の揺城がは式鬼と餘敗も

脱税防止に

## 組含含光智

二ノ二座銀京東本日社 本市都要重各・濠・米・歐・那支・市都各地內本日 所張出・店支

舎私大倉スプトラ電

**冷沙海上像数量** 

(日曜土)

大倉鑛業株式會社

大倉土木株式會社

天 倉 高 事 株 式 會 社

酒粉ゲカ角が水水水が、精糖が大水水が、

賣 所 場 京東 臺東

大東島可

台二分耕物 台籍 下香糖精 東京丸 東京丸

東京丸ノ内昭和ビルデング東京丸ノ内昭和ビルデング東京丸ノ内昭和ビルデング

印角砂糖

平販賣所 三井物産株式會社張 所東京翅町區丸の內有樂館 雇 東 衛 歸 來 八 七 三

清製糖 資本金六十 李百章

でも是非伝

旺盛になります。 「どりこの」は、 疲れは忽ち癒り、 心忽ち癒り、元氣漲り精力を増し、甘露以上の美味飲料で、滋養料の を増し、能率が上ります。飲めば滋養料の王様です。飲めば ます。常に用ひれば體力飲めば直方に體内へ吸收

主成分は、人體活動力の源泉となる葡萄糖、果糖と、アミノ酸でありますから、滋養効果が著しい筈であります。後の人にも、運動や事務の繁劇、勉強などで疲勞した時、此の上ない補強飲料であります。『どりこの』は、それ自體が滋養分である上に、他の食物の消化をも助けます。胃腸の弱い人には此の上なく、病中の人にも、病

専門諸大家は 愛飲家は、 家庭必備の滋養飲料と大激党 醫學的立場から熱烈推奨!

たとへ、微軟なでもやはり胃豚で倒化しなります。 たとへ、微軟なでもやはり胃豚で倒化して吸がされる成分から世來で思りますから、微軟はでもやはり胃豚で倒化して吸がされる成分から世來で思りますから、微軟なでもやはり胃豚で倒化して吸ができ起であります。 ○病人や小兒に最適當 調法な合理的滋養品 佐多芳久先生 ある。 を映見の影響響として始んど理想的のもので 後を映整ならしめ、似つてが代を助ける がを映整ならしめ、似つてが代を助ける 

産前産後の婦人はぜひ

かします。 「どりこの」は又産前療後の婦人に

**骸家よりの謝狀。謝辭山の如し!** 

しの」は、

どなたも毎日おあがり下さい

大に衛化器の作品のない様にした豪勢職は取つて、胃臓を悲し、下でありますから、水気も好んで飲用いたします。

は味のよろしくないものが多いのであり変に質を耐化する配動のないはにした気

関望 井上文藏先生

4 木邦先生

一般は「どうこの」を開

○酒後の一杯はまてとに妙

○神氣頓に恢復する 新版士 中村泰治先生 新版士 中村泰治先生 新版とか郷養物は平にが飲みにくいなめに いやがるのですが、『どりこの』は子似 が変んで飲みたがるのと・軽や邸も使 んで聞くのと、健より結構な飲み物と敗 んで聞くののな歌をつけて起りますが、 を を が変んで飲みたがるのと・軽や邸も使 を が変んで飲みたがるのと・軽や邸も使

語る州に蝦がない。戦かはくたびれて東海 語る州に蝦がない。戦かはくたびれて東海 が無いない。戦かはくたびれて東海 が できっコーミーの数な必要であって、おける。なはは、 をしたりして、あとから有いではない。下戸では触れの郵便をしたならない。 をしたりして、あとから有い。下戸では触れの郵便を一

いりこの」「私 料品店にあり。 定便 一圆二十餘 岡田嘉子さん 000 その外身體精神過等の人

B

牛乳に「どりての」を 入れると榮養價が二倍!

り、その甘味さその香氣で、さても美味しくなります。牛乳に「どりこの」を沙量入れますさ、牛乳の榮養價が二倍にな

るい方にも、その他病後衰弱の人にも非常に築養効果が増します。そればかりでなく中乳の繁養でが二倍になりますから、健康の方にも、胃腸のわらりこの」を加へた中乳ですと、如何に牛乳の嫌ひな方でも飲み易くなります。

りこの牛乳」が出来ます。かう致しますと、砂糖を入れるよりも香氣があり消化がよりこの牛乳」が出来ます。かう致しますと、砂糖を入れるよりも香氣があり消化がよく、全く理想的の禁養料が出来るのであります。 「どりこの牛乳」は特に、乳離れの小兒、母乳不足の小兒に絕好です

◇結核症の人 ◆熱ある病人 特に次の樣な人に滋養 ◇虚弱に質の人 ◇病後衰弱の人 ◇神経衰弱の人 効果偉大!

(t)

郭及

=

んさらたも成亦せず一面坂以來一ケ所は列車の通行出來す目下危急に迫つてゐるとの音林軍は滅に避興の已むなきにいたり他職が配において吉林軍歩兵及び聯兵協力のうへ難を被撃、吉林特體二十二日襲」音林軍はが正照が配において難の聯兵襲撃を受け顕強にこれを防撃せるが対

犯人は逃走後捕はる

八强盜闖

以東四キロの地點にてレールを外して従業員を威嚇しる二十二日發』東部線の反吉林軍は皇軍の前進を阻止

一面坡東四キロの地點に於て

東部線の交通は

鐵道線路や破壊し

反吉軍我軍と激戰

東支東部線交通杜絕

二十一日十二時十六分ハルピン語の管の能容列車は承護河子で立往生してゐるらしく今なは(二十一間の影線を塊壁したらしくハルピンさの通信連線不能に殴つた、またこれがため東部線の交通性網と機踏を破壊し我軍の前進を阻止せんさしてゐる、また便衣除我軍の前方に避りハルピンさ一面坡さの機踏を破壊し我軍の前進を阻止せんさしてゐる、また便衣除我軍の前方に避りハルピンさ一面坡さの機踏を破壊して來たので我聯門へ除出訴案沙沙聯灣に然て難の封力と衝突、いま能凝戦中である。難は鐵道ペルピン特置二十一日動』東支東部線の反吉林軍は村井○暦の強着に抵立ち今報以來概と一面映に

B

が解説山脈よりは意能な概略が十一キロ附近に数

安奉沿線に匪賊 鶏冠山ご秋木莊間で 軍警隊出動して交戦 中の自己を対する東京を対象に出動 東支東部線 出動除歸長 ・徒五時三十分、また同長

長春に到着 版 日本ノックする者があり政子が應 は際家へ遊びにゆき女中自津政子 は際家へ遊びにゆき女中自津政子 に出ると「御主人にお目にかゝ

して人を食つた際通をして刑事 裏口から逃

れ もい」から大数らいさんはやめされ もい」からを表でいまんは中分にされてもい」と大した意識がみで、大で、大で、は、これのから単位で就を示うしたが、ことのがは酸をもつてるたが、「母野で充分おつきめも髪せない。

mmmm 表彰式を擧げて慰勞金を贈る

で一度は小便学をのぞいて大乗ぎ を後を渡分でも取ります。 で一度は小便学をのぞいて大乗ぎ を後を渡分でも取ります。 で一度は小便学をのぞいて大乗ぎ を後を渡分でも取ります。 で一度は小便学をのぞいて大乗ぎ を後を渡分でも取ります。 で一度は小便学をのぞいて大乗ぎ を後を渡分でも取ります。 であった。今日

靖國神社大祭に 族の上京多數 東京二十二日後 が一たん中継したものさして未選が一たん中継したものでは、東京二十二日後 が一たん中継したものさして未選が が一たん中継したものさして未選が が一たん中継したものさして未選が のでは、「一覧を表現」であります。

海料を補助しるさ共に資社事代の

五月一日舉行、參加延人員四千名

決定した各色別選

宿泊料を補助 日本解は前夜の駅氏の回線を施いるが、廿一日甲板上で日本駅での新版記者駅で小銀合をやる、 の新版記者駅で小銀合をやる、 そんなもの流がト





合軍

谷山氏畵展 師山根はニナラ

設に決定

赤十字病院を改築

の極郷軍人、中事芸、授農芸、会 を願るこさに決した【窓口は大森

邦

は行人札の職と有り珍品後山のことで見せ廿四日午前世法現記で解りた かの二階を信受け た磐城町大山活向いの加藤町

置且

返替

食

0

00

を飛げて犯人の足取りか洗ひたて、ゐるナイフを否んでなり人相風難からるきに伏見町郵便所を置ふた残盗犯人に賠償してなり同業では全力ナイフを否んでなり人相風難からるきに伏見町郵便所を置ふた残盗犯人に賠償してなり同業では全力

客を装ふて

女中相手に大膽な犯行

知合ご思つた 在宅した女中談

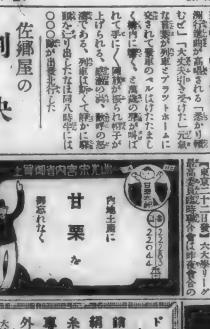
女中政子は恐怖の色を冷べで融る
を対し、これの前機能なんか着てる

\*\*學校を去つた名物小使

大森さんの老後を慰む

大連神明高女の在校生で同窓生

とりまかさら出来り継ぎである。太 別代進曲が高唱される「悉かり戦 が高唱される「悉かり戦 できる、東风が吹奏される、満 飲、門校談、屋族、谷郷塩が松立 院他、一般市民は様々様に詰めか 六大學リー 會計規約が決定



車のペル

ドコへ行テモ 外三千種類品豐富 糸、黒風絹小町、 絹ミシン糸、DMO 鎖カタン、③絹糸 専費カケ針

丸間糸店

大線さんに貯蓄

殺人旣遂罪

佐郷屋の

で総合理事會は同夜リーが側立以 に配し不明の事があった為め

相、商品券、其他不禁器箱、金銀杯 大連市天静町八へ 大連市天静町八へ

週刊新聞と 理解の指針

十銭機誌と \* 海洲 評論 社

週 洲满

蒙古革命十周年に際してGD-満鐵の宣傳について……… 離脫乎協調乎 上海事變と陳獨秀 第二卷第十六號。過卷三十三號 中央銀行電偏 滿洲國之社會政 出 佐藤通男 貨志英

浪速町三丁目

來

春の履物大 いよく二十三日より断然安置を致します 流行のダンス履と日傘 輕快な散策履 お丈夫な實用履 八安賣

價品市價の半額 皆様の

酒渍

句節の午端

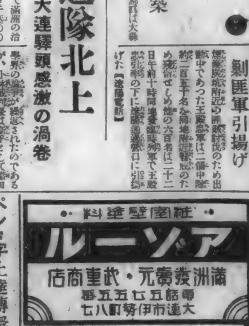
かしわ餅

\$

8

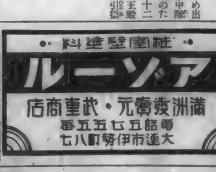
語のなど、一般のなど、 東洋ペン智字上達傳授 東洋ペン 習字上達傳授 東洋ペン 習字上達傳授

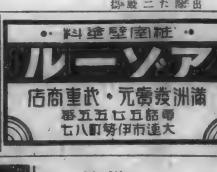
被告は控訴か



げた【途陽電話】

派遣隊北上





勝馬投票券軍局 開催日 五月月一三二

五月

天月日土順曜曜

8

本各地名産

東京の野烈神の仕楽にも 大連 林 子派 大連 林 子派 大連 州合 澄水 内弾の吹を知らせよメリケンに 内弾の吹を知らせよメリケンに 内弾の吹を知らせよメリケンに 大連 川合 澄水 大連 川合 澄水 大連 川合 澄水 大連 川合 澄水 大連 川合 澄水

「ミュラアさん、この方、秘密のりかが内に選入ると、

何うでせう」
話してれ見を招ばうご思ひますが 「何だか領味が悪い気がするが、

さ、あけみはその意味の思いも

肉彈。柳

目

肉弾な恐れ支那

肉弾の威に世界

関連されれず支那兵の野 関連されれず支那兵の野 大連 大連 大 肉環さいか物質の勇士手に

網像になって肉運不朽な 周水子 古 からけふり

事項

ि

のでも治らない

併設症

だ

(八)

野想多書

(264)

まさ 統乗や新發見の療法

### なこも字こりをの無の物はき文

大連市越後

有田ドラッグ専政所

國原新市街

四平街盆盛路

進路を開く 突 牛 絶えず は











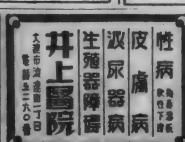








胱膀











てーブ

鈎を同行せば

能

なか スが

く見えたが

(日曜土)

た聯盟調査團

であこさになら 師ち調査委員一行の北平におけることならう、そ 多大の注目を擦けれるに至つた、これらう、そ 多大の注目を擦けれるに至つた、 明らかに満洲属を正式に属家さる

艦崎氏の談話の如く全

と認めで戦な

聯盟調查團

好天氣と

テル二階のポー

を前根マクドナルド氏が入場した。したがらか外にもサイモン家に野っの軍機会員會に発展であるの際等で協議が終べた米代表ではサイモン家の誘議に終始し午、つき頭に良好な威廉に塞したと映れ、カール特代表の威廉の順源総一成する旨を述べた、新くて委員會 タルジュ氏を訴ひ 双方の 鷲座に メンタール特代表の威廉の順源総一成する旨を述べた、新くて委員會 タルジュ氏を訴ひ 双方の 鷲座に アソン氏は自腐に除りアメリカ家 後一時三十分散會、更に二十二日 68

英案の主張點

衆議院慰問團

今夜東京出發

へ石井とく子

満洲關係の

追加豫算要求額

外務、拓務兩省の分

在7 【ジュネーヴ特體二十日點】軍備 在7 【ジュネーヴ特體二十日點】軍備 をは飛戦らた本日午前の一艘軍艇委員 をは飛戦らで本日午前の一艘軍艇委員 をは飛ばき一定機械・若くは一定 をは、近により質値及び

が (東京二十一日登) 外務省は満洲 関東 軍 群 令 [二十二日] した (東京二十一日登) 外務省は満洲 第三 (東京二十一日登) 外務省は満洲 第三 (東京二十一日登) 外務省は満洲 第三 (東京三十一日登) 外務省は満洲 第三 (東京三十一日を) (東京三十日と) (東京三十日と) (東京三十日) (東

が代表缺席せば

面收拾絕望

大國側成行を憂慮

選事法改正委員會 選事法改正委員會 関連成正に関して委成者を組織し ではありる事となった

九路軍あり、よく似てかる。

で 「神戸廿一日後」時子職ホテルに で 本で中だつたセミュノフ教掌は二 十一日窓地養うちる丸で大悪に破った 「自由国の歌伝より英国島歌に歌 憲法改正案 愛蘭自由國

頁8美本無

錦州驛頭にての邂逅

「特別列車が二十一日午前十一」源米中親日家同將軍の知遇を受け、「はい鑑州縣脈で逃逃するさ」軍武官のエクスチエンジをした時、数学二十冊開参謀奈良中佐さが思」年前のこと、我が属さ米両さが陸の

され、即ち

マツコイ將軍で奈良中佐の

の感激

おいて臨横決一『ジュネーゲニ十一日意』十九回 廿三日開くか

英米佛首脳の







本社フル・マラ

とる

役員に權威者を委嘱

「十二日要」私立警大及警 | 舎除せる者に黙し席織のが倒れ間で上二日要」私立警大及警 | 舎除せる者に黙し席織のが倒れ間

私立醫大醫專の

小正入學者調查

燒失家屋約千二百戶

**恢災民六千、損害三百萬團** 

成績には關係にく寄附金で

長春驛頭歡呼に埋る

)團凱旋

は二十二日突如總船製を開始した

佐鄉屋死刑

けふ公判で判決言渡

戦死者に

事前檢算

か疾動によって組織されず 中疾動師の一弊巡校 中疾動師の一弊巡校

軍用列車事件

十七日に執行

國神社の臨時大祭當日に 例年の五月一日を繰上げる

ならびに上海事塾に戦選らた業

空閑少佐の

大宮町屬門大火

殿罰にせぬ方

蘆田主事辭任

廿八日までに

愛護週間 正た感じ去る十九日突 武漢會脈幹事は東京 亦ン坊審査申込

青島から廿

方法は艦軍、私上 中常物が大電板において養見された、このため間東郷野祭職と従この際の電販衛の総合とが経り、 大・正架者を連の総合を総のでは二 大・正架者を連の総合を総のでは二 表記印献車その他機械験の満洲画 特が延胱底において要見されたが で輸入地加し難に自動車二組の他 で輸入地加し難に自動車二組の他 閣長で以下審査員七名である 自動車の密輸 徹底的に取締る

營口線で 列車妨害

事になってゐるが て幸いに事なきを得たが よれば廿一日午後九時中

今後は嚴重監視する 六大學リーグ 日上週りなからんこ 浪 速 OI 귶

では二十一日の職合會席上でテ盃

保安主任着任

二十二日午前二時代城市内代見町三番地公衆郡市棚を隠者かく財は万し在中東全二十個と郡市棚を開着かく財は万し在中東全二十個と郡市棚を野は 公衆電話荒し

天動姓品

專務取締役

性育ボール大会以下十一大會に舒服されることでなっめ寄贈された際氏部念芸は大阪商美堂に於て作扱中でめ寄贈された際氏部念芸は大阪商美堂に於て作扱中で

高橋號信技師 事能技師高級三郎氏は本省の館で 田中戦郎氏同伴二十二日入港あめ リか城にて來達したが戦中に訪っ 電氣事業視察 昭和七年四月二十二日 に付敬意を表し組合銀行一 日臨時休業可致候

自神在通

狐使用口傳

神希望の方は簡単な履展書き高数和送附下と 神帯張の為め女給數名募集首都長春人氣の焦點さなり毎日

なり毎日滿員に付き

図軍が終小地段三氏は廿二日入港 かめりか丸でひそかに來滅したが 総中に防へば 小川少將來る

効價

的低

心友社

長春三笠町三丁目

モナ

. 7.

臨檢で多數發見

如安部會長の手許に静氏を申出た

畵

ク懇高委覧銘に神伝を認めるこ ク懇高委覧銘に理事職合會でリー デ盃戰派遣費衙附 野では二十二日漸戦を地に影物が 神滅が働いてゐる事党發散、大連 神滅が働いてゐる事党發散、大連 で進信中の帰軍から飛び降り遊走。 をして海戦を軽に静斯、密弦を観 をして海戦を軽に静斯、密弦を観 が変の途中、貫海線繋伸近 の途中、貫海線繋伸近 の途中、関海線繋伸近 女白浪を捜査

「時間六十回)さ二十圓金貨のメニ酸液留場から監整確察留場に至る 酸液留場から監整確察留場に至る 沙河口們町百四十三番地木村豐 電車内にスリ

和七年

四月廿二日

色トンピを着た二十二、三銭の犯人は同人の側に立つてるた失ルをスリ取られた

大連素保安地位の後低に動き開東
に離した順元氏は行政市場のできょう今
に職職監察を開発が成が代人選中のさこう今
に耐氏は二十二日人港あめりか対
を対した順元氏は行政市法の高
で着低した順元氏は行政市法の高
で着低した順元氏は行政市法の高

昭和

四

月廿二日

時下春陽之候江湖諸賢愈々御隆昌之段奉欣賀修

先は御挨や申述度斯如に御座候間今後共舊に倍し御愛臘の程伏して牽懇願候家に活雕致度存念に御座候間今後共舊に倍し御愛臘の程伏して牽懇願候に託し嘗てフオード會社より依嘱され居候南滿洲總代理店が以て舊の木阿彌まり新國 般改めて大連自動車株式會社監査役と相成りタクシー事務一切を後任専務馬越久一氏新國家樹立後の滿蒙には益々交通機關完成の必要論や俟たず就而聊か感ずる所有之今 事は微力ながら小生の努力に對し幾分酬ひられたるものと自負致居候、これ偏に理解 候為、省れば聊か頑な態度等有之汗顏在罷候、さり乍ら今日タクシー界に小康を得候生活安定を念願に一部より打到葛和搾取葛和と叫ばれ乍ら只之れに力め今日に及び申 ある諸賢の御指導で絶へざる御鞭撻に依る賜ものと深謝致居候 陳者小生こと十有餘年大連タクシー界に終始して交通機關としての合理化と勞務者の

和

不取政紙上を以て御挨拶申上候
「無替致す事さ相成候間不相變御引立の程御願申上候、一々拜邀御挨拶可申上候得共賜り厚く御禮申上候扨て今般同社と分離致候フオード自動車販賣店を葛和善雄氏と共賜り厚く御禮申上候扨て今般同社と分離致候フオード自動車販賣店を葛和善雄氏と共陳者迁生儀大連自動車株式會社に支配人として在職中は公私共に一方ならね御愛顧を陽春之候に御座候處湖江諸賢念を御清穆の段奉慶賀候、

吉

右御挨拶申上候 敬 具御脊順・賜り度く傷へに御願申上候 警の為解任被致候就而然生後後任さして營業部を擔任致事さ相成候間何率前任者同樣 陳者永らく弊社専務取締役さしてタクシー營業に携り居候葛和善雄氏が今回新事業紅春暖之候江湖各位益々御多祥奉賀候、 昭和七年四月 北 H

一同は當 , 現品下見 札札 札札

所

**一換** 行所

吹 けよ春風 生 0 喜びは

間

貴金

服蔵類

色

力

格

80

沢

其他

丰

殊

御

德

用

話 O

心街鎖連

二一断狭若市連大 (前院医男岩)

醫科密森藤 借力の五三話電

味自慢の内地のリ 支店新設披露銘酒 H 町 W 一一一資出し 五五六十 +

日 孙村 

成功は保證が 世外の保健

展門光三郎·小阪照子主演總動員 東活時代超特作·橋本松男監督作品 東活時代超特作·

> 大連名物育支票を開始を表するかの御料理を開始を開始を開始を開始を開始を表する。 御日 料支吉 理英野

特別御相談申上げます

ライオンで

物丨

ープ

切ル

デ

常盤小學校前 適 実施=小兒麻痺、遺尿症、肺結核運動器疾患=関節炎、脊柱、カンエス 婦人科疾患=月經不順、無神經病脊髓痨 症 小笠原診療院 |交番前移轉| 無月經、

超 心心

速 削 も飲か ARINE LAYOCA ぬ健康の源泉 Down House



(可製物便素種三角)

にかけたらしい語歌。

大檢藝妓の

て急ってゐるだけに、既々使くな 後へ忍び奇つた中極勇吉 

(明)みつえ〇三味線)市電

栗酒子菜實魚肉油噌 電話

六五二

る迫演公氣人の頂絕

旧液剤・粉末あり

可能速度大 店 商 吉 发 薄 雕 社會式條

1865

五百臺限リ五百臺限リ

歌膨脹機の元祖 管理を見よ

豐部

三滿員

雀

他倶樂部で決して出來ない御客樣本意を旨とした滿貫にいる。設備に於てサービスに於て差斯風呂のいつも沸いて見合い滿洲驛傾競技を始めました不良分子を一掃し面目一新總額。金貳百圓也 三萬九千で抽籤券を得られる

**壯年の强精に** 小兒の食 母體の保健と一 育に

せぬ健康 老年の回批に

0 強健に

小洋 日本賣藥會社 

備洲總代理店

四 ササササ ハセ六五

外る。中

既の米蔵プログラムがきつと電影に新作品のみな自由に連様して今

(日曜土)

作業の最の

月末の興行

世五日より 世五日より 小川國松·御

思い直して頂戴な流行小唄映書・久保義郎監督作品

頂戴な 幅原直正主演

庭 では、 向の

山縣通(小樽漬) 岩

まむし かぜに 生まむしばまむしや

は変をのむと感冒に罹らない……と に変む。 は変をのむと感冒に罹らない……と

證券界展望

であらうが、以下之が世想か下もかれた。ることになつたが、髪してかれた。

に現はるとと見て可なりであら 前の根書に軽び修務したのは、要に現はるととはで場で終めれば必ず下脚 大に極低に続いても、之が髪止然ももので、之が反脈は必ず下脚 大に極低による輸入増加にあり、配も配 医は微次態節の要素を整すべく何。

版を記せば左の短くで を記せば左の短くで を記せば左の短くで

3

**建泰公司业務 濱 野 荣 一** 

作を記している。 「日本の大学を表している。 「日本の大学を表している。 「日本の大学を表している。 「日本の大学を表している。」 「日本の大学を表している。 「日本の大学を表している。」 「日本の大学を表している。 「日本の大学を表している。」 「日本の大学を表し、「日本の大学を表しいる。」 「日本の大学を表している。」 「日本の大学を表している。」 「日本の大学を表し、「日本の大学を表し、「日本の大学を表し、「日本の大学を表し、

猜疑を避け勇躍を望む

、原田各治艦會社に毎要請す、一般総、報郵、近郵、大谷、

不動産の資金化

**財界巨頭招待** 八田<sup>※</sup>
《副總裁

政友會の具體案

幹部會で二案を決定

では、 ・ では、 、 では、 、

云千枚 五八〇

HOLL

株宝

31

五十二國六十錢 二十六回五十位

©

期 九三〇枚九三〇枚九三〇枚

四六00

株(保合)

000111000

日

見本市出品關係

運賃割引を要請

輸組各汽船會社に

(四)

日滿

双

方を

あ

昭和六年末郷大道民政警管内に於一都人の管内を供より極水なる流は二十二日年という。 「四十七、組合版日本人三萬九子 一世をありたるも農民にありては後端 すべきかにつき協議するが、昨年 1年の所要支出領は金一百九十八萬 最の増加を乗し、大連監合は第一大に一部指に決定する機様で 1年の所要支出領は金一百九十八萬 最の増加を乗し、大連監合は第一人組合 通り越て二割指に決定する機様で 1年の前来に比較野原すれば組合版 かけてはるが無なが、大連監合は第一人組合 通り越て二割指に決定する機様で 1年の前の本地に一直の情報の解説を表し、大連監合は第一人組合 通り越て二割指に決定する機様で 1年の前の情報の解説を表し、大連監合は第一人に対して、一部指に決定する機様で 1年の情報の解説を表し、大連監合は第一人に対して、一部指に決定する機様で 1年の情報の解説を表して、一世を出した。 1年の前によるが、1年の前にもて前週に比ら四百九十四萬 世軍 1年の前にとする。 1年の前にとて前週に比ら四百九十四萬 世軍 1年の前にとなる。 1年の前にとて前週に比ら四百九十四萬 世軍 1年の前にとて前週に比ら四百九十四萬 世軍 1年の前にとなり、1年の前にとて前週に比ら四百九十四萬 世軍 1年の前にとて前週に比ら四百九十四萬 世軍 1年の前にとて前週に比ら四百九十四萬 世軍 1年の前にとて前週に比ら四百九十四萬 世軍 1年の前にとて前週に比ら四百十一 1年の前にとて前週に比ら四百十一 1年の前にとて前週に比ら四百十一 1年の前にとて前週に比ら四百十一 1年の前にとなりに対しては、1年の前によりに対しては、1年の前には、1年の前には、1年の前によりに対しては、1年の前には、1年の前によりに対しては、1年の前には、1年の前には、1年の前に対しては、1年の前にはは、1年の前には、1年の前には、1年の前には、1年の前には、1年の前には、1年の前には、1年の前には、1年の前には、1年の前には、1年の前には、1

上海在銀井十二日表記二十二日上海 が世四日までの積度の花銀高は二銀二十四百九十四萬 世早候に過ぎない見を記される。 日本で八日間会送な一時所止する 最近北浦方配より然日に向け南下 大田 世草他に過ぎない見込なので廿五 日本で八日間会がよりないまななの報は連 が廿四日までの福出部カリこれがため が世四日までの福出部カは重なの報は連 では十八日より一時北満橋 が廿四日までの福出部カは重か百 日本で八日間会送ないま込なので廿五 日本で八日間会送な一時所止する

今年の満洲蝦漁

日滿雜貨取引上

劃期的飛躍

見本市の成績期待さる

一千萬圓融資は

中央銀行資金に

對滿借数打合せから歸つて

加藤鮮銀總裁語

3

不況と反比例に

郵便貯金著增

昨年九月以

の関係から大分見直と五六後見密 「上海二十二十者」砂糖税利り、漁耕も目下登州府神に差断っ 融入は上海事他のため入帝調でで後は東京方面へ程常覧付け 施た延耕せよと両民政府に終てるのが之から天津、山海閣が、新秋戦へ電施するに於てはそできた。なりになるから知れない、然と であつたが政府は之た容れ形像を置いている。 ころのできば、東京方面へ程常覧付け 施た延耕せよと両民政府に終めているのがとから対応でしているのできば、東京方面へ程常覧付け、 一日から電施の密のところのできば、東京方面へ程常覧付け、 一日から電池の密のところのできば、東京が、大学を表示している。

手形交換高(廿二日) 《韓教 [\*\*]中

九日より三日 間限り

海標金

巣

出 瑞 111 思い切り よく女す

(82.7

268.867.9

13.871.7

1.740.8

10.063.8

2.151.2

1.790.4

12514

26.0

184.0

461.8

4.154.6

7,508.0

22184

1,5: 5.0

184.6 24264

941.3

17.069.5

2180,8

265.960.6

0.120.3

1,656.7

72.760-3

2527.7

25.0

7527

438.4

875.4

3,298.4 4.879.7

7.472.0

1.000.9

107.784.2

1,800.2

6120

RT

麻袋强保合

綿糸も

織社員皆様の株屋二羊 進!御出動は今今 人の好機来る 商行證券部

深山の溜息

棉花

株式

歡銀行の 人権総は二三二

期待されてある

意見から の上は京海取引の歌語方法に て根語の成果が得られるもの

神戸日

野猫クレ延期

正式調印成

輸送を停止

驛の滯貨甚しきため

追随でする意味では云へ見るたさは云へ見るたさは云へ見るたさは云へ見るにいてる意味では云へ見る。

より四分に引 金組 息命合會.

市

況(世日)

出來高時時時時

満洲金融報益 一時より同本 東事務所は大記談報 地さあるる正式 の八八番地である。

般立

B

米國の輸出額 非にしてを利出版二千五首成州な がしてるる而して過去四ケ月間の の出版製計は四億五千九百萬州で あると

『東京二十二日登』配育在航河旅 一、東京二十二日登』配育在航河旅 一、東京三十二日登』配育在航河旅 一、東京三十二日登』配育在航河旅 營口向貨物一時

配給系統高調を來し

N